

日本自走式駐車場工業会会報誌

ぶれぱ

2025

No.83

特 集

「道の駅」「SA・PA」と自走式立体駐車場

令和7年度 新体制スタート

自治体訪問活動レポート



一般社団法人

日本自走式駐車場工業会

ぶれぱ

2025 No.83

CONTENTS

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会

令和7年度 新体制が発足しました

理事長 清家政彦より	3
役員紹介	5

令和7年

定時社員総会・会員懇親会

レポート	14
------------	----

自走式駐車場議員連盟

佐藤信秋会長より	18
所属議員紹介	18

大臣認定自走式駐車場 関連ニュース	20
-------------------------	----

特集1

国土交通大臣認定自走式立体駐車場の“役割”

「道の駅」「SA・PA」への導入に向けて

「道の駅 富士川楽座」現地視察	24
空港駐車場の立体構造化について	28

特集2

自治体訪問活動報告

国の支援制度について	34
------------------	----

工業会活動報告

大臣認定自走式駐車場 実績報告(概要)	42
---------------------------	----

新規入会 賛助会員紹介	45
-------------------	----

会員名簿	46
------------	----



【表紙説明】

長電長野パーキング

1981年11月に営業を開始した長電長野パーキングですが、老朽化や耐震診断調査の結果から建て替えることとなり、1年7か月に及ぶ解体・新築工事の末、新たな長電長野パーキングとして2024年12月にグランドオープンしました。

6層7段の店舗付き自走式立体駐車場（連続傾床タイプ）で、緩やかな車路により駐車し易く、423台の駐車スペースを確保しています。また、1Fにはテナント6店舗を構え、利便性の高い駐車場となっております。

長野駅、市役所前駅から徒歩3～4分ほどの好立地にあり、隣接する百貨店をはじめ長野駅周辺へお買い物にお越しになる方、駅周辺ホテルに宿泊される方など、多くの皆様にご利用いただき、長野駅前の活性化、まちづくりに貢献している駐車場です。

メーカー	綿半ソリューションズ株式会社
製品名	店舗付き個別認定品
施主	長野電鉄株式会社
建設地	長野県長野市南千歳1-17-7
工期	2024年1月9日～2024年11月30日
構造	S造
建築面積	1,787㎡
延床面積	10,440㎡
収容台数	423台（うち身障者6台）

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会

令和7年度 新体制が発足しました

新理事長 清家政彦より 「これからの取り組みについて」

去る5月20日に開催した当工業会の令和7年定時社員総会にて理事の改選が行われ、
続く臨時理事会において清家政彦新理事長をはじめとする役員人事を決定、
新体制が発足しました。

ここでは、当工業会広報委員会の委員長を務める川合裕久理事との対談を通じ、
清家政彦理事長から、当工業会の今後の取り組みについてお伝えします。

川合広報委員長 今期より新たに理事長に就任されました。これからの活動に向け、どのような抱負を？

清家理事長 川合理事もそうですが、私は前期も理事として当工業会の運営に携わっていましたので、栗本和昌前理事長が主導されてきたこれまでの取り組みを、しっかり引き継いでいきたいと思っています。特に、国土交通大臣認定自走式立体駐車場（以下「認定自走式駐車場」）が災害時に垂直避難施設として役に立つことを広報する活動が実を結び、最近では実績もいくつか出始めているので、認定自走式駐車

されていました。非常にストレートな表現でした。

清家 今は原材料費が高騰し、人件費も上がり続ける一方で、自走式立体駐車場の需要は減少傾向にあるなど、非常に厳しい状況といえます。こんなときだからこそ特に「会員でよかった」と感じられるような取り組みが不可欠だと思っています。「よかった」と思えることとはつまり「企業として利益が上がること」にほかなりません。

川合 そのために当工業会ができること、あるいはすべきことは……？

清家 まずは認定自走式駐車場の需要を増やすことで、国の支援制度である「緊急防災・減災事業債」や「都市防災総合推進事業」の対象に避難施設としての認定自走式駐車場が含まれることが明確化しました。今後は、この事実をしっかりと広め、新たな需要につなげていかなければなりません。

川合 自治体訪問をしていると、「駐車場」がそれら支援



清家政彦 理事長



川合裕久 広報委員長

場が地域を守る「フェーズフリー」※な施設であることは引き続き伝えていきたいと思います。

川合 広報委員会としても最も力を入れているテーマですので、私もしっかり取り組んでいきたいと思います。私は先日の定時社員総会・懇親会での清家理事長のスピーチが印象に残っています。「会員の利益を追求する」「会員企業の利益が上がらなければならない」と繰り返し強調

※「フェーズフリー」：日常時（駐車場）と非常時（避難施設）のどちらの「フェーズ」でも役に立つこと

（次ページに続きます）

制度の対象になることに驚かれることもあります。「もっと早く知っていれば整備計画に盛り込むことができた」という話をいただくこともありました。

清家 支援制度が活用できるなら認定自走式駐車場の整備を計画できるという自治体もあると思いますので、そういった潜在ニーズをしっかりとキャッチしていきたいと思います。また、新たな需要という点では全国の「道の駅」や高速道路のSA・PAにおける「駐車場の立体構造化」にも、しっかり対応していきたいと思います。

川合 先日、自走式立体駐車場を導入している「道の駅 富士川楽座」を視察してきました。かつては平面駐車場が満車になり、入庫待ち車両で渋滞が発生するなどの問題があったそうですが、2層3段型自走式立体駐車場を整備したことで問題をほぼ解消できたとのことでした。同じような課題を抱える「道の駅」にも参考になるはずです。

清家 そういった需要の喚起こそ、当工業会の役割だと思います。そしてそのためにも、会員企業間の情報共有をしっかりと進めていきたいと考えています。当工業会が今、どんな取り組みをしているのか、どんな成果が得られたのか、しっかり会員に情報を伝えていくこと。これを徹底していきたいと思います。

川合 それが会員企業の利益につながっていく、と。

清家 それと、当工業会からの情報提供と同時に、会員間でも情報の共有を進めていってほしいと思います。それは例えば施工の方法であったり、賛助会員の製品やサービスの情報であったり、どんなことでもいいんです。お互いに情報共有を積極的に進めていくことで、企業単独では得るのが難しい情報を得られることが、当工業会の会員であることのメリットになると思っています。

川合 おっしゃるとおり、自治体訪問活動についても、訪問先に認定自走式駐車場のことをお伝えすることがもちろん大きな目的ですが、その後の会員への情報共有も非常に重要だと思います。

清家 そういった認識が浸透すれば、工業会の活動にも積極的に参加しやすくなると思います。「会の活動に参加すれば情報が得られる。企業活動として意味がある」と思ってもらえるようにしたいです。



情報共有を会員企業のメリットに

川合 ともすれば定期的に会合のある理事だけが表立って活動するような状況になりがちですが、理事以外の会員も動きやすい環境をつくりたいですね。

清家 私が理事長として力を発揮できるのは、そういったコミュニケーションをしっかりと取るといった部分だと思っていますので、場合によってはあまり会の活動に積極的ではない会員のところにも足を運んで、顔を合わせて、コミュニケーションを取っていこうと考えています。

川合 会員の中でも、たとえば現場に近い立場の人はまた違う情報を持っていたりしますよね。欲している情報も非常に具体的で実践的なものであったり。

清家 そのような情報を共有し、補完し合うようなコミュニケーションの場を提供できるようにしたいですね。ちなみに私は自社の社員には「顧客情報以外の情報はどんどん出せばいい」と伝えています。情報は出した分だけ入ってくるものだから、と。それこそ細かな施工方法の「ここをこう変更したらちょっと良くなった」といった話でもどんどん出せばいい。そういった情報がしっかり回るようになれば、会員でいる意味や価値を見いだしてもらえると思うんです。

川合 会員それぞれがそういったメリットを実感できるようにになれば、会の雰囲気も自ずと変わっていきますね。

清家 そのためのカギとなるのが、各部会・委員会の活動だと思っています。中でも“雰囲気づくり”という面では、会の内にも外にも影響が大きい広報委員会の活動が重要ですので、川合委員長、よろしくお願いしますね。

川合 そう来ますか(笑)

清家 その姿勢が他の部会や委員会に波及することで、開かれた工業会が醸成されていくことになると思いますので。もちろん私も率先して取り組むつもりです。(了)

一般社団法人日本自走式駐車場工業会 役員紹介

理事長 **清家 政彦** セイワパーク株式会社

趣味：ゴルフ、マラソン、釣り

今年度より理事長を務めさせて頂くこととなりましたセイワパーク(株)社長の清家政彦です。微力ながら国土交通大臣認定自走式駐車場の普及拡大と共に当工業会の健全な発展に貢献できるよう全力で頑張らせて参ります。何卒よろしくお願い致します。

昨年度の国土交通大臣認定自走式駐車場の市場は当工業会内の実績で70件を切る状況になっています。良い時には600件を超える実績があったことを考えると非常に厳しい市場となっています。この市場を増やしていくためにこれまで以上に

地方自治体への災害対策としての自走式駐車場の周知活動を徹底していきたいと思っています。また高速道路サービスエリアや道の駅などにもPRをしていき市場を増やしていく活動を行っていきます。

今後とも会員企業の利益に貢献する工業会となるように取り組んで参ります。皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



副理事長(総務部会長) **中川 賢** 一般社団法人日本自走式駐車場工業会

趣味：ゴルフ

この度副理事長に再任されました中川 賢です。引き続き認定自走式駐車場のさらなる発展に努めてまいります。

人件費や材料費が高騰し、10年ほど前の水準と比較して認定自走式駐車場の建設コストは1.5倍ほどに上昇するなど、厳しい状況にあるといえますが、引き続き新たな需要の喚起に取り組んでまいりたいと思います。具体的には、かねてより研究を進めてきた高速道路のSA・PAや、繁忙期の

駐車場不足に悩む「道の駅」にも、認定自走式駐車場の導入を働きかけていきたいと考えております。

さらに、都市の移動を支える施設として、MaaSやパーク&ライドへの対応、EV充電環境の充実など、まちづくりと連携した認定自走式駐車場のあり方についても研究を進めていきたいと思っています。



専務理事 **亀村 幸泰** 一般社団法人日本自走式駐車場工業会

趣味：囲碁六段、海外旅行(35か国・地域訪問)、ゴルフ、山登り、映画鑑賞、三陸復興支援

専務理事に再任されました亀村幸泰です。日本自走式駐車場工業会に来て、約5年が経ち、認定自走式駐車場の社会的認知を高め需要の拡大に向け様々な活動を進めています。フェーズフリーリーフレットを用いて自治体、道の駅、SA・PA、空港の管理者に対し、緊急防災・減災事業債、都市防災総合推進事業の立体駐車場への活用による災害対策の推進や認定自走式駐車場の優位性(耐火被覆が必要なく、防火区画や消火設備についての緩和等による低コス

ト化、津波・洪水等への安全性など)について積極的に周知を図り、需要の更なる拡大を目指して行くことが課題です。また、SDGsの実現に向け、当工業会としてできることの模索、防災、減災への取り組み等、社会への貢献を図っていくことも課題となっています。これらの課題について会員の皆様と一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



執行理事(企画部会長) **知田 晃一** 日成ビルド工業株式会社

趣味：特になし

本年度より企画部会長の任命を承りました。昨年度は技術部会長として、認定自走式駐車場の技術面について、国土交通省や建築センターとの打ち合わせに参加させて頂き改善点の協議を行う等、様々なことを経験させて頂きました。

企画部会での活動にあたっては、技術部会で経験したことを活かし、認定自走式駐車場の納入実績増・商品価

値向上等、工業会でしか出来ない役割を考察し活動に繋げていければと思っています。

会員メーカーの皆様のご尽力を頂き、企画部会の活動が有意義なものになるよう努めて参りますので、ご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。



執行理事(技術部会長) **米山 行夫** 綿半ソリューションズ株式会社

趣味：料理(男の手抜き料理ですが)、音楽鑑賞、プランター園芸

この度、日本自走式駐車場工業会技術部会長に就任いたしました綿半ソリューションズ株式会社所属の米山行夫と申します。身に余る重責を賜り、身の引き締まる思いでございます。

近年、都市部における駐車場不足の深刻化や、環境配慮型社会の実現に向けて、自走式駐車場の技術革新と品質向上がますます重要となっております。特に、災害時における代替避難施設としての対応、又利用者にとって安全安心な施設としての対応、建設時や運用中の省エネルギー技術の導入など、多岐にわたる

技術課題への対応が求められています。

技術部会長として、会員企業の皆様と連携し、最新の建築技術や安全基準の普及促進、技術者の育成、業界全体の技術水準向上に全力で取り組んでまいります。また、関係機関との協力体制を強化し、自走式駐車場の更なる発展と社会貢献を目指してまいります。

皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



執行理事(技術部会副会長) **船水 賢** 雄健工業株式会社

趣味：サッカー・車・音楽鑑賞

この度、当工業会の執行理事に就任いたしました、雄健工業株式会社の船水でございます。日頃より、当工業会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。自走式立体駐車場を取り巻く環境は、今後ますます大きく変化していくと認識しております。このような変化に柔軟に対応できる体制を整えることが、今後の重要な課題であると考えております。技術革新や社会のニーズに応じた対応力

が求められる中で、私自身もこの課題に真摯に向き合い、微力ではございますが、当工業会の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

当工業会のさらなる成長と発展、そして技術向上を目指し、皆様と協力しながら前進していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事(総務部会副会長) **飯島 登美夫** 株式会社内藤ハウス

趣味：旅行(史跡・温泉巡り)

経済状況、特にアメリカの影響を考えると我々の建築業にとっては厳しい環境が続くと思われます。しかしながら、どんな状況でも将来を見据えて投資を行う企業は必ず出てきます。こんな企業にフォーカスしながら、質を高めて選ばれる企業を目指して行きたいと思います。

しばらく、当工業会にとっても厳しい時代が続きますが、何でもかんでもやるというのではなく選別して、工業会全体で取り組むべきこと、また個々の会員にて行うことを区別して行動してゆきたいと思います。



理事(広報委員会委員長 建設委員会委員長) **川合 裕久** 近藤工業株式会社

趣味：趣味ではなく、先祖代々続く土地を守る義務感から1haの田んぼで「幻の米ミネアサヒ」を栽培していましたが、今年、昨年と近所の人たちからあそこも、ここもといわれ気づいたら1.3haまで栽培面積が広がってしまい、毎週末は農作業にてんてこ舞いしています。

2013年に理事に就任してから早いもので12年となります。理事就任後は執行理事企画部会長、技術部会長、広報委員長などをおおせつかり、当工業会内部だけでなく、国、県、地方自治体の方々とも自治体訪問等の工業会活動を通じて様々な意見交換をさせていただき良い経験をさせていただきました。

今期からも広報委員長として……(何故か建設委員長も兼務となりましたが)当工業会の活動に携わらせていただきます。

減少し続ける自走駐市場の需要喚起策として地方自治体への「緊急防災・減災事業債」を活用した避難施設ありきの自走駐建設、そして民間事業者が地方自治体を動かしての「都市防災総合推進事業」を活用した自走駐建設を機会ある毎に情報発信していきたいと思っています。

また当工業会に所属しているからこそ出来る「何か」を作り出し、会員全社が利益を得られようにしていきたいと思っています。



理事(広報委員会副委員長) **山本 拓也** Parkキング建設株式会社

趣味：建築関係以外にも関わっていたこともあり、広報活動を通じて「伝えること」に関心が高まり、日常でも分かりやすく話す工夫をするのがちょっとした楽しみになっています。

このたび、日本自走式駐車場工業会の理事に再任され、併せて広報副委員長を拝命いたしました。身の引き締まる思いと共に、これまで以上に業界発展のため尽力してまいります。現在、若年層の車離れが顕著となっておりますが、私たちは「移動の楽しさ」や「所有する喜び」を再発見して

もらえるような広報活動を強化し、環境に優しく、魅力ある車社会の発信に努めます。業界の未来を担う若者たちと共に、新たな価値を創造していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



理事(企画部会副部長) **市田 春治** 株式会社北川鉄工所

趣味：愛犬との散歩やドライブ

この度理事に就任致しました株式会社北川鉄工所の市田でございます。

昨今では材料や人件費の高騰に加えて職人不足や若者の建築離れなど、自走式駐車場業界を取り巻く環境は年々厳しい状況になっています。このままでは、会員メーカーや賛助会員の皆様にとっても仕事が無くなってしまう危機的な状況であると認識しています。そのような中で生き残って

いくには、新たな市場の開拓や新しい工法の開発、当工業会所属メーカーならではの特権などを模索していく必要があると考えます。会員企業で知恵を絞りこの危機的な状況を打開して参りましょう。微力ではございますが、当工業会の発展に少しでもお役に立てるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事(建設委員会副委員長) **岡本 弘司** 株式会社豊国ショウワパーク

趣味：「硬式テニス」を現在もしております。最近は膝が痛くなり、思うように体が動きませんが、健康維持のつもりで、続けております。

この度、日本自走式駐車場工業会の理事に就任した「豊国ショウワパーク」の岡本でございます。私はこれまで機械式立体駐車場の事業・業務を行って参りましたが、この度、ご縁があり、自走式駐車場の業界に携わることになりました。同じような業界に見えて、実は全く異なる業界であること、また機械式には無い難しさがあることを、日々実感しております。

日本自走式駐車場工業会が本業界に於いて取り組み、実践

して積み上げてきた業績は、先人の方々のご努力もあり、現在の会員各位に大きな成功、功績を残しているように感じております。

今回、理事に就任致しましたが、まだまだ分からないことばかりで、不安ではありますが業界全体の発展に少しでも寄与できるよう、努力して参る所存でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



監事 **山本 稔** 有限会社サン・ネット

趣味：ゴルフ、写真撮影

この度、日本自走式駐車場工業会の監事に再任されました山本 稔でございます。

改めてその重責を感じ、引き続き業界の健全な発展に尽力してまいります。

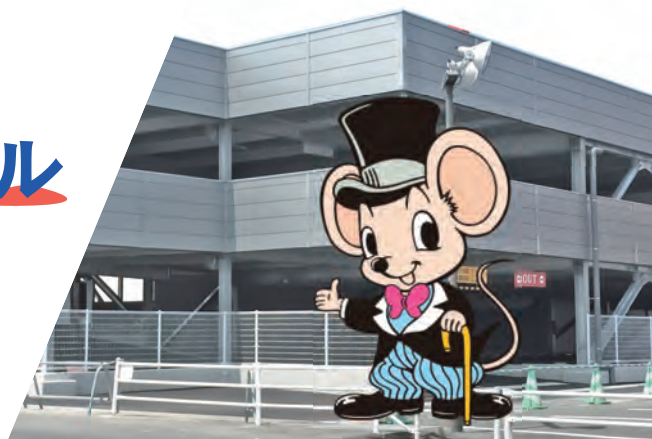
認定自走式駐車場は、災害時には避難施設として機能する「フェーズフリー」な社会インフラとしての役割を担うと同時に、新しいモビリティ社会への対応も求められるこ

とになります。こうした変化に柔軟に対応し、利用者にとって安全で快適な駐車場づくりに取り組むことがより一層重要になると考えています。

このような取り組みを行う団体の監事として、皆様とともに当工業会の発展に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



立体駐車場の 修繕・リニューアル セイワパークに お任せください！



セイワパークでは既存立体駐車場の
様々な問題を解決しています

- ✓ 老朽化が進んでおり、危険性を感じる
- ✓ 突発的な災害や事故によって、破損等がある
- ✓ 漏水や錆等の現象がある
- ✓ 修繕が必要か分からない
- ✓ 今後発生する修繕費用を把握したい

こんなお悩みをお持ちであれば、
まずはセイワパークに基本点検を依頼してみませんか？

メンテナンスフリーに近い自走式立体駐車場ですが、
適切なタイミングで修繕やリニューアルを行うことで、
いつまでも安全・快適にお使い頂くことができます。



経年劣化により全体的に老朽化が進んでいる駐車場、予期せぬ災害で錆やクラックが散見される駐車場は、
放置していると思わぬ事故が起きる可能性もありますので特に点検をお勧めしています。

事例①

RF床コンクリートの
中性化・漏水の懸念



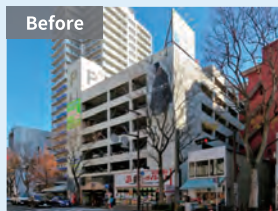
After

既存表面の
脆弱部を研磨した後、
FRP複合防水を
実施しました。



事例②

外壁の経年汚れ、
シール切れ



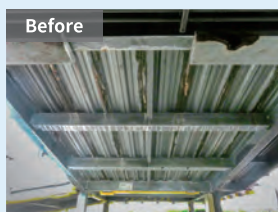
After

高圧洗浄、
シールの打ち増し・
打ち替え、塗装を
実施しました。



事例③

塩害により、
赤錆びが発生



After

ケレン、清掃の上
錆止め処置・
ローバル塗装等を
実施しました。



無料
実施

駐車場の基本点検

- 目視点検の上、
写真付きで報告書をご提出します。
- 緊急性がある箇所や、修繕が必要
になる部分等をランク分けし、
ご説明いたします。

お問い合わせフォーム

検討段階から
ご相談にお応えいたします。



会社概要

セイワパーク株式会社

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-1-3

☎092-474-1452

受付時間：月～金(祝日を除く) 09:00～17:00

東京支店

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-7-11 3F

☎03-6426-5175

受付時間：月～金(祝日を除く) 09:00～17:00

<https://www.seiwapark.co.jp>

SUSTAINABILITY

綿半の環境駐車場

【綿半の立体駐車場】

防耐火性能について国土交通大臣の認定を取得した駐車場です。一般建築の駐車場と比べて防火設備の緩和が受けられる為、建設コスト・短工期・維持管理コスト・品質などの多くのメリットがあります。



壁面緑化
ヒートアイランド対策



太陽光発電
Co2 排出量ゼロ



TSC 鋼

Co2 削減：電炉の採用
コラム柱への電炉材採用可能



避難施設

災害時の津波避難施設
平常時：最上階から入出庫

例：中土佐町様の場合



緊急時：1 階解放

サステナブルな取り組みと
もしもに備える様々な機能
をご用意してます。

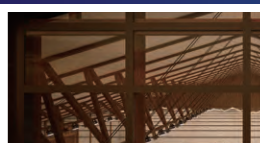
備えない防災
Phase Free な選択肢

■水の確保
躯体に雨水を溜める
・特許 第 6751801号

■避難しやすいスロープ
■救急車が入れる高さ
■津波に耐える構造
■災害用簡易トイレ



PREST WOOD：綿半のサステナブルな大空間木造建築



その他：サステナブルなリニューアル

豪雨対策

BCP 対策

浸水対策

綿半ソリューションズ株式会社

Watahan Solutions Co.,Ltd.

420 年続く
日本の
会社だヨ



お問い合わせ先：四ツ谷本社

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル
TEL.03-3341-2723

▼▼ 続きは Web でご覧ください ▼▼

ご対応エリア
日本全国

綿半 立駐



ロードヒーティング・浸透性防水・防雪ネット・ロードグリップの
ご用命はアイロード株式会社へ



 アイロード株式会社

〒005-0016 北海道札幌市南区真駒内南町7丁目7番12号
TEL : 011-588-1100 FAX : 011-588-1110
<https://www.ai-road.jp>



溶融亜鉛めっき 株式会社ガルバ興業

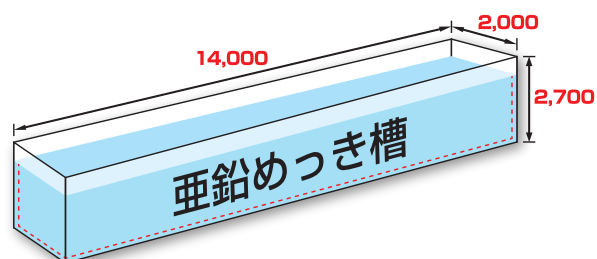


西条工場

〒799-1354

愛媛県西条市北条962番地59

TEL (0898)76-7700 FAX (0898)76-7701

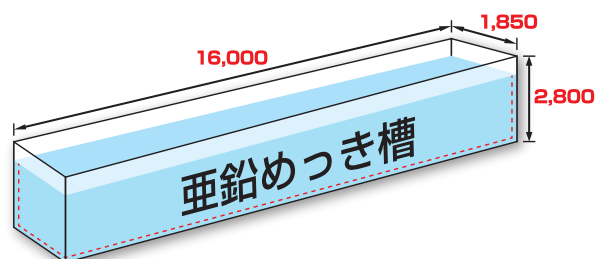


三原工場

〒729-0473

広島県三原市沼田西町小原73番46号

TEL (0848)86-6411 FAX (0848)86-6855



株式会社ガルバ興業

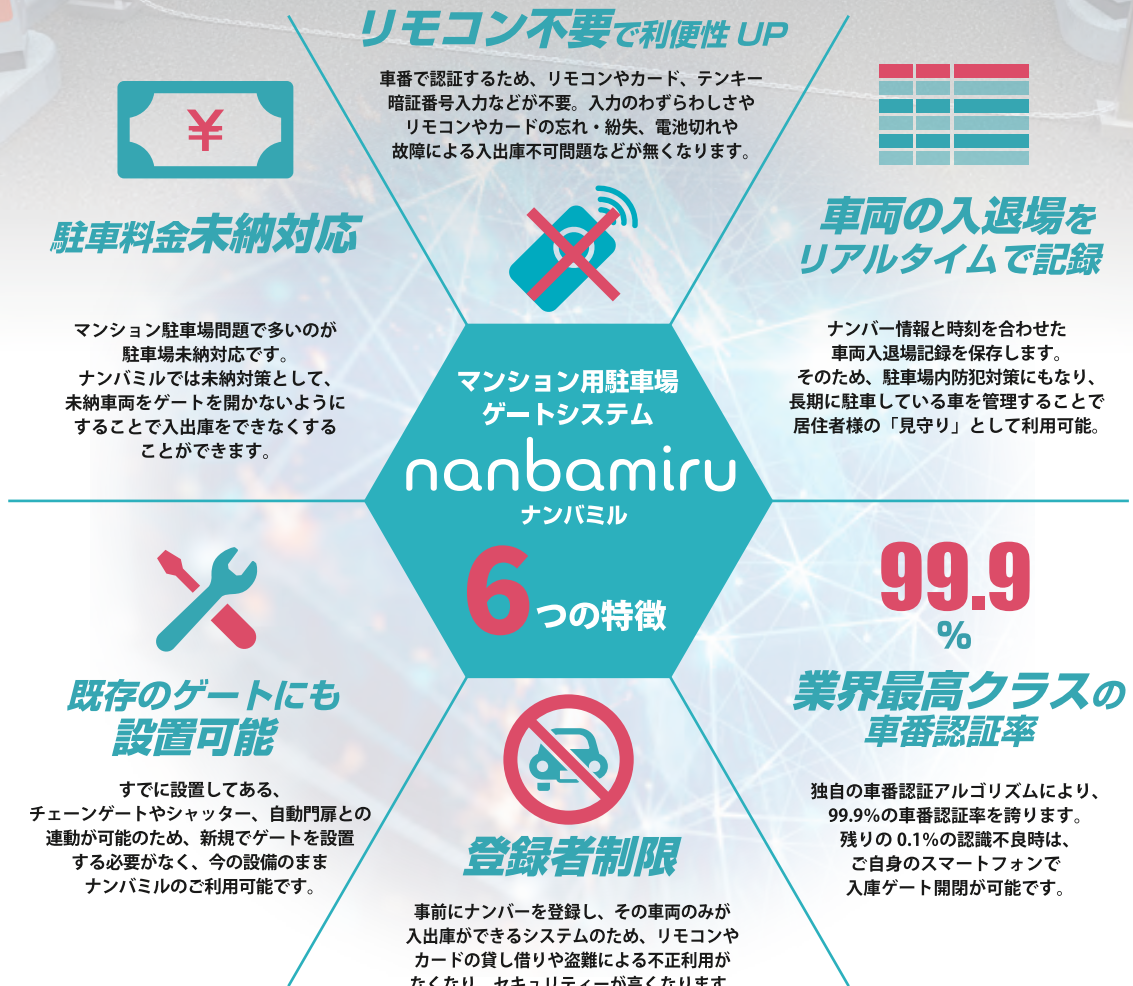
www.galva.co.jp



ナンバミル nanbamiru

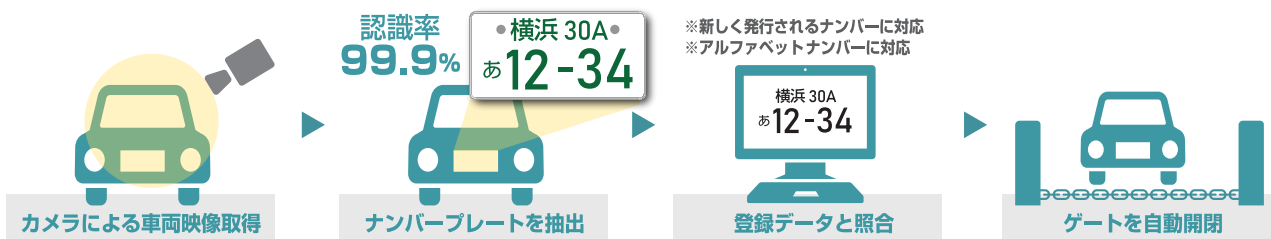
駐車場ゲート管理システム

リモコンレスでスムーズな入出庫管理システムが 業界随一の低価格で導入可能



nanbamiru とは?

「ナンバミル」は事前にナンバーを登録した車両を認証し、出入口のチェーンゲートやシャッター、自動門扉と連動させます。登録済の車両はリモコン操作やカード認証、テンキー暗証番号入力などの操作をすることなく、ゲート前で一旦停車するだけでゲートを開けることができます。



お問い合わせ

カタログダウンロードはこちらの QR コードが便利です ▼



株式会社 シーディーアイ

WEB <https://www.cdi.jp/>

本社：愛知県一宮市大和町妙興寺字丹波12番地
東京：東京都中央区日本橋小網町9番6号
営業所：NST小網町ビル 6階



0586-27-0127

03-5614-0367



日東亜鉛 PRIDE

国内トップクラスの生産量
5つの製造ライン

川崎工場

名古屋工場

栃木工場

全国に3工場あります！

大型
めっき槽

川崎工場

パイプ専用
めっき槽

川崎工場

名古屋工場

小型
めっき槽

川崎工場

栃木工場

加工
能力

6,000t/月

生産力

付加価値

環境配慮

顧客ニーズに
応える
**ワンストップ
体制**

顧客満足度を高める
付加価値の創出

プラス
+αサービス

- ・各種付帯処理作業
- ・指示仕分け×出荷管理

「誰一人取り残さない」
持続可能な未来を目指す

SDGs 7つの取組み



日東亜鉛株式会社

本社及び
川崎工場

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町4番3号
TEL:044-266-7881 FAX:044-288-4040



▲ホームページ



▲Instagram



▲YouTube

「令和7年 定時社員総会・懇親会」を開催

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会

2025年5月20日、ホテル ルポール麹町（東京都千代田区）にて
当工業会 令和7年 定時社員総会・懇親会を開催しました。



定時社員総会



定時社員総会



賛助会総会

当日は賛助会総会の開催に続き、定時社員総会を開催しました。定時社員総会では新理事の改選を含め全議案が滞りなく承認され、その後に開催された臨時理事会にて新体制が決定しました。

定時社員総会終了後には自走式駐車場議員連盟（以下、「議連」）会長の佐藤信秋参議院議員をはじめとする議連所属の国会議員の方々、国土交通省、内閣府ほか関係省庁・関係諸団体の方々をお招きし、「定時社員総会懇親会」を開催しました。



→ 次ページから、懇親会でのスピーチを要約して掲載します。

※ 肩書・所属等は開催当時のものです。

会員企業の利益を追求していきたい

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会 清家 政彦 理事長（開催挨拶）

今期、理事長を務めることになりました、福岡に本社がありますセイワパークの代表、清家政彦と申します。よろしくお願いします。2年間、しっかり務めさせていただきたいと思います。

自走式駐車場業界は需要が低迷してきており、過去の一時期に比べ6分の1にまで減少しているという状況になっております。この非常に厳しい状況の中、理事長という大役を務めさせていただきます。やはり当工業会に加盟する会員企業の利益がしっかり上がらないと、この会自体も良くなりません。会も潤いませんし、賛助会員の皆様も潤いません。しっかり我々が利益を上げるため、栗本前理事長から引き継ぎ、いろいろ取り組んでまいります。

大臣認定自走式立体駐車場は災害に強いということをお知らせするため、各地の自治体を回らせていただいています。また、空港や道の駅など、新たな需要をこの会の活動を通じてしっかり獲得していきたいと思えます。参加しているといろいろな情報が手に入るという会にし、会員相互に情報を出し合いながら、お互いに高めあっていけるように尽力していきたいと考えております。

本日は自走式駐車場議連の先生方にも来ていただいています。議連の先生方のご協力があって、当工業会は成り立っております。今年には参議院選挙もあります

し、また衆議院選挙もいつあるかわかりません。議連の先生方は必ず我々が力を挙げて応援をし、全員が当選されるようにしていきたいと思えます。皆さんが応援するのは当たり前です。社員、協力会社、親戚の皆さん、近くの居酒屋の飲み仲間、そういったところまでしっかりPRして、我々の力で全員に当選していただけるよう、やっていきたいと思えます。

重ね重ねになりますけれども、我々はしっかり利益を上げて生き残っていくということが大事です。ここにお集まりの、当工業会に所属する会員企業だけがしっかり利益を上げられるようにやっていきたいと思えます。今後とも皆様のご支援とご協力をいただきながら、運営してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



高速道路のサービスエリアにも自走式立体駐車場を

自走式駐車場議員連盟 会長 佐藤 信秋 参議院議員

今から30年ほど前でしょうか、野呂田芳成先生から「これからプレハブ駐車場は大事な施設になるから応援したい。しっかりやってくれ」とのお話がありました。そして今、そのとおりになりました。時代に合った施設だと思います。これからは自走式駐車場議員連盟として国土交通省住宅局、都市局の皆さんとともに、しっかりと普及させていきたいと思えます。

私は昨年11月から自民党国土強靱化推進本部の本部長を拝命しましたが、以前より国土強靱化の実施中期計画の中で、自走式立体駐車場について言及しています。普段は駐車場として使われながら、いざという時に役に立つ。そういうことが大事なのは確かです。

また、特に最近、物流の課題である大型車の駐車間

題があり、高速道路のサービスエリアなどで大型車をちゃんと置けるようにしなければなりません。そうになると、サービスエリアへの自走式立体駐車場の導入も必要となります。

やるべきことはたくさんありますが、自走式立体駐車場が世の中の役に立つことは確かなので、議連の先生方、国土交通省の住宅局、都市局、これからまた力を合わせていきたいと思えます。自走式立体駐車場はこれからまた伸びていく業界だと思います。これからもよろしくお願いいたします。頑張りましょう。



事前防災の取り組みをしっかりと進めていく



前国家公安委員会委員長 自走式駐車場議員連盟 幹事長 松村 祥史 参議院議院議員

岸田政権において国家公安委員会委員長、そして防災担当を務めさせていただきましたが、同時に国土強靱化も担当させていただきました。佐藤先生からいろいろなご指導をいただきながら、実施中期計画を6月までに取りまとめるよう取り組んできたところです。

石川で震災が起きてしまいましたが、石川は土地のないところであったため、残念ながらハザードマップの危険地域にしか仮設住宅を建てることができませんでした。

どうしても仮設住宅は平屋という発想でしたが、自走式立体駐車場があればまた違っていただけたかな、と思います。

現在、防災庁の設置に向けて準備室が設けられていますが、党の防災体制抜本的強化本部の本部長代理を務めながら、事前防災にしっかりと切り替えていく。どんな災害を想定し、どんな対応をしていくのか。その貴重な財源となるのが国土強靱化予算だと思います。まさしく防災と国土強靱化は「矛」と「盾」。皆さんと頑張りたいと考えております。貴工業会からも事前防災のご提案をいろいろな形でいただければと思いますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

地方自治体への理解も広がっている

国土交通副大臣 自走式駐車場議員連盟 古川 康 衆議院議員

日本自走式駐車場工業会の皆様方には、議員連盟などを通じて日頃から様々な形でご指導を賜っていること、心から感謝を申し上げる次第です。

諸先輩の先生方のご尽力があって、皆様と緊密な連携を取りつつあると思っておりますし、国土交通省のみならず総務省の取り組みを通じ、この自走式立体駐車場をどうやって広げていくのかということについて、地方自治体への理解が広がってきていると思います。

これからは事前防災の時代になってまいります。都市にも、地方にも必要です。こうした自走式立体駐車場をつくっていくことによって事前防災に力を入れれば、

実際に災害が起きた時の復旧にかかる費用が3分の1あるいは6分の1ぐらいで済むという試算もあります。

どこで災害が起きるかわからない時代において、あらかじめの準備をしっかりと備えていくこと。その中心にこの自走式立体駐車場があるのではないかと考えています。皆様方のお力をお借りしながら、この業界が発展していくためにしっかりと務めることをお約束申し上げて、私からの挨拶とさせていただきます。



道の駅や空港の駐車場不足、渋滞緩和にも大きく貢献する



国土交通省 楠田 幹人 住宅局長

皆様方には日頃から国土交通行政の推進に格別のご理解ご協力を賜っており、厚く御礼を申し上げます。

貴工業会は建築基準法の大員認定制度を積極的に活用いただき、自走式立体駐車場の整備を推進され、地域

の活力の向上に本当に大きく貢献をされてきたと思っております。これまでのご尽力に改めて感謝を申し上げ、深く敬意を表したいと思います。特に東日本大震災以降、自走式立体駐車場が避難施設としても活用できるフェーズフリーな施設であることについて、積極的に広報されています。私たちもまさにその思いで、皆様に広く知っていただけるよう活動していきたいと思っております。

また、自走式立体駐車場は道の駅や地方の空港などでの駐車場不足の問題や渋滞の緩和に対し、大きく貢献する施設だと思っており、関係者の皆様のご理解をいただきながらどんどん導入が進むよう我々も思っているところです。

重量制限の緩和につきましては昨年の6月に2.5トンまで許容する方針を出し、今年度、すでに数件、大臣認定を交付をしたところです。

これからも皆様方のお話をしっかり伺いながら、制度の適切な運用に努めてまいりたいと思います。

防災上の取り組みや様々な課題への対処に期待



自走式駐車場議員連盟 幹事長代理 平口 洋 衆議院議員(乾杯発声)

日本自走式駐車場工業会の令和7年度の活動が始まったということで、これからもよろしくお願ひしたい、頑張っていたきたいと思います。防災上の取り組みや、建築基準法上の課題などいろいろあろうかと思いますが、これからもどうぞ頑張っていたきたいと思います。自民党にはちょっと逆風が吹いています。トランプ大統領の発言を踏まえ、相当な影響が及びそうですが、これらの問題をきちんと解決するのは自民党しかありませんので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

それぞれの会社の繁栄が日本の繁栄につながる

自走式駐車場議員連盟 宮崎 政久 衆議院議員

佐藤先生の下で頑張らせていただいています。皆様のお仕事がつつがなく進むようお手伝いをしたいと思っておりますので、ぜひこれからもいろいろお申し付けいただければと思っております。

それぞれの会社の繁栄が日本の発展と経済再生を作ると思っておりますので、どうぞお手伝いをさせてください。



中川 賢 副理事長の呼び掛けで執行理事が登壇し、中締め



中締めは中川 賢副理事長が務めた。執行理事3名を壇上に招き、知田執行理事の首頭による三本締めで閉会に。



■ 開催日：2025年5月20日

■ 会場：ホテル ルポール麹町(東京都千代田区)

自走式駐車場議員連盟より

自走式駐車場の国土強靱化に対する役割に期待する

自走式駐車場議員連盟 会長 前参議院議員 **佐藤 信秋**



二階俊博先生が14年間引っ張ってこられた自民党の国土強靱化本部の本部長を私が継がせて頂いてからおよそ一年。二階、林、佐藤で駆け抜けて来た14年間とも言えます。

基本法に基づく国土強靱化基本計画を令和5年7月に改訂しましたが、この中に普段使いながら、いざという時の活用を図るいわゆる「フェーズフリー」の事例のつもりで「自走式駐車場」の活用も入れました。これは東日本大震災の時、多くの「自走式駐車場」が地震や津波に耐えて緊急避難施設として活用された事例に基づいたものです。

そして、強靱化実施中期計画の中には、自走式駐車場に係る課題として「津波避難タワー等の整備」を入れました。「津波避難タワー」として活用するには「階段」より「スロー

プ」の方が高齢者や障害者、乳幼児等の避難が容易です。そこに備蓄倉庫やトイレ等を備えて、避難施設としても

活用することが、津波に襲われる危険性のある沿岸地域では望ましいと考えられています。この為の補助制度としては国土交通省都市局の「都市防災総合推進事業」など各省の支援事業や総務省の「緊急防災、減災事業債」による地方公共団体への支援措置があります。昨年の能登半島地震や先日のカムチャッカ半島地震に見られるように、大地震と津波は身近にある危険です。「フェーズフリー」で普段、駐車場として使いながら、いざという時は緊急避難施設として活躍できる、自走式駐車場を沿岸地域に広めたいと思っています。

自走式駐車場議員連盟 所属議員

顧問



額賀 福志郎 衆議院議員
第80代衆議院議長

茨城県2区
初当選：1983年 当選14回

副会長



小淵 優子 衆議院議員

群馬県5区
初当選：2000年 当選9回

幹事長



松村 祥史 参議院議員

熊本県
初当選：2004年 当選4回

幹事長代理



平口 洋 衆議院議員

広島県2区
初当選：2005年 当選6回

事務局長



鈴木 貴子 衆議院議員

北海道7区
初当選：2013年 当選5回

当工業会の創立当初よりご指導いただいている自走式駐車場議員連盟は、佐藤信秋会長のもと、現在18名で構成されています。今後の議員連盟の活動について、そして国土交通大臣認定自走式立体駐車場が果たすべき役割への期待について、佐藤信秋会長からメッセージをいただきました。



笹川 博義 衆議院議員

農林水産副大臣

群馬県 3 区

初当選：2012年 当選5回



鈴木 憲和 衆議院議員

復興副大臣

山形県 2 区

初当選：2012年 当選5回



中谷 真一 衆議院議員

比例代表 (南関東)

初当選：2012年 当選5回



野中 厚 衆議院議員

文部科学副大臣

比例代表 (北関東)

初当選：2012年 当選5回



宮崎 政久 衆議院議員

比例代表 (九州)

初当選：2012年 当選5回



山下 貴司 衆議院議員

岡山県 2 区

初当選：2012年 当選5回



古川 康 衆議院議員

国土交通副大臣

比例代表 (九州)

初当選：2014年 当選4回



五十嵐 清 衆議院議員

環境大臣政務官

比例代表 (北関東)

初当選：2021年 当選2回



上田 英俊 衆議院議員

富山県 2 区

初当選：2021年 当選2回



高見 康裕 衆議院議員

国土交通大臣政務官

島根県 2 区

初当選：2021年 当選2回



青木 一彦 参議院議員

内閣官房副長官

鳥取県・島根県

初当選：2010年 当選3回



永井 学 参議院議員

山梨県

初当選：2022年 当選1回

国土交通大臣認定自走式立体駐車場 NEWS & TOPICS

NEWS & TOPICS 1

日頃より、大臣認定及び建築基準法運用面、並びに災害発生時の避難施設としての取り組みに対しご指導をいただいている、国土交通省住宅局及び都市局におきまして、本年(2025年)7月の人事異動がありました。7月付で新たに着任された幹部の方7名を紹介します。

国土交通省住宅局	住宅局長	宿本 尚吾氏
	大臣官房審議官(住宅局担当)	井崎 信也氏
	大臣官房審議官(住宅局担当)	豊嶋 太朗氏
	建築指導課長	松野 秀生氏
国土交通省都市局	都市安全課長	三浦 良平氏
	市街地整備課長	小川 博之氏
	街路交通施設課長	筒井 祐治氏

NEWS & TOPICS 2

6月6日に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」では「津波避難タワー等の整備」について触れられていますが、当工業会が確認したところ、この「津波避難タワー等」の中に「国土交通大臣認定自走式立体駐車場」が含まれることが明らかになりました。

政府は去る6月6日、「第1次国土強靱化実施中期計画」を閣議決定しました。2026年度から2030年度までの5年間で、おおむね20兆円強の事業を計画するとしています。

この中期計画では、推進が特に必要となる施策として「津波避難タワー等の整備」が挙げられていますが(右上図は概要版からの抜粋^{※1})、この「津波避難タワー等」の中に「国土交通大臣認定自走式立体駐車場」が含まれることが明らかになっています^{※2}。なお、この中期計画のマスタープランである「国土強靱化基本計画」(2023年7月28日閣議決定)でも、「自走式立体駐車場等の民間所有施設

※耐震化は所有者の判断で行われるものであり、100%に近い状態を目指す目標を設定
<立地適正化計画等と連携した国土強靱化施策の推進、国土強靱化と地方創生の一体的推進による地域防災力の強化>
■災害に強い市街地形成に関する対策【国土交通省】
《目標》災害に強い市街地形成に関する対策を優先的に必要とする地域(569市区町村(令和5年度時点))のうち、対策(津波避難タワー等の整備、不燃化促進、緊急車両アクセス向上、防災機能強化等)が概成した割合
9.0%【R5】→45%【R12】→100%【R25】

※1：概要版より：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/dai1_chuukikeikaku/gaiyou.pdf

を津波避難施設として効果的に活用することを含め、各種避難施設の整備・機能強化を推進する(以下略)」と明記されています。

これらの対象には民間の施設も含まれ、津波・洪水等の避難にも用いられる自走式立体駐車場の整備にあたって都市防災総合推進事業を活用する際に、国土強靱化の予算が充当されることになります。

※2：当工業会が実施した担当部局(国土交通省都市局都市安全課)との意見交換を通じ確認。

日本自走式駐車場工業会と共に歩み、創業20周年

高いプロ意識と研鑽を通じ
安全・安心・信頼を届け続ける

JCIA

日本建築検査協会株式会社
(国土交通大臣第17号)



【拠点】

本社：03-6202-3280
新宿支店：03-5909-0840
札幌支店：011-590-4780
北陸支店：076-204-8101
大阪事務所：06-6210-3267

【業務】

- ◇指定確認検査機関
- ◇指定構造計算適合性判定機関
- ◇指定性能評価機関
- ◇指定住宅性能評価機関
- ◇建築物エネルギー消費性能指定機関

全国どこでも駐車場の台数不足を解消します。
豊富な実績を基に最適なプランニングが可能です。

様々な場所でご採用頂いております

自走式駐車場の最適な提案

お客様のニーズ・利用用途に合わせて、プランを検討し、必要な収容台数で最適なお提案をします。

環境に配慮した設備

電気自動車の充電器の設置、LED照明の採用や、壁面緑化、太陽光発電パネルの設置など環境に配慮した駐車場づくりをお手伝いします。

駐車場不足の解消

自走式立体駐車場建設の技術を生かし、都市部の駐車場不足の解消に、立体駐車場をご提案します。



全国対応!!日成ビルド工業の自走式駐車場



日成ビルド工業株式会社

ニッセイ ハウス パーク

☎ 0120-21-8589

全国27営業店対応可能です。お気軽にご相談ください!



◀弊社WEBサイトへアクセスいただけます。
ご相談はWEBサイトからでも受付しております!
<https://www.nisseibuild.co.jp/>

駐輪場DXを推進

駐輪場定期利用 web システム 「サイカスマートナビ」



CYCA

サイカパーキング株式会社

東京都中央区日本橋小網町 7-2

TEL 03-3667-9635

<https://www.cyca.co.jp>



publication digital signage sign design

出版・DTP・印刷

デジタルサイネージ

サインデザイン 料金・満空表示等各種看板

駐車場のサイン・製作物のデザインから設置まで

ワンストップサービス

ご用命・ご相談・お問い合わせ

有限会社サン・ネット TEL : 03-3269-6696 <http://www.sun-net.cc/>



無機質コンクリート浸透性改質材 **けい酸ナトリウム系**

RC-GUARDEX

国土交通省新技術 (NETIS)

KT-060075-VE

2017年3月NETIS掲載期間満了

効果

新設時：塩害・凍害・中性化の抑制、エフロの抑制、養生効果
改修時：Ph値の回復、引張・圧縮強度の上昇、微細クラックの閉塞

シラン系製品も好評販売中

RC ガーデックス TS-60 高濃度型
RC ガーデックス TS-H 高撥水型

駐車場の床面に最適な RC ガーデックス防水工法。

RC ガーデックスを使用した防水工法は、**新設・改修を問わない**優れた防水工法です。

物流倉庫・店舗屋上駐車場・自走式駐車場向けの冊子がございます。弊社まで気軽にお問い合わせください。



日本躯体処理株式会社
www.kutai.co.jp

本社 ☎048-229-7222
札幌営業所 ☎011-214-9748
仙台営業所 ☎022-281-9565

大阪営業所 ☎06-4303-4506
名古屋営業所 ☎052-439-6204
福岡営業所 ☎092-692-9200



道路区画線・道路標識・薄層カラー舗装・安全施設設計施工

双葉ライン株式会社

本社

〒125-0031 東京都葛飾区西水元 3 丁目 9 番 16 号

電話 (03)3608-9191 番 F A X (03)3608-9192 番

東京営業所

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-5-4 クラマタ産業ビル 303 号室

電話 (03)3816-2181 番 F A X (03)3816-2182 番

建設業許可 東京都知事(特-5)第120297号
(舗装/一般土木/とび・土工/塗装工事業)



URL : <https://futaba-line.co.jp>

国土交通大臣認定自走式立体駐車場の“役割”

「道の駅」「SA・PA」への導入に向けて

「道の駅 富士川楽座」現地視察レポート

当工業会では、全国の「道の駅」や高速道路のサービスエリア・パーキングエリアが抱える駐車場不足の課題に対し、国土交通大臣認定自走式立体駐車場の導入が有効な解決策であると考え、調査・研究を進めています。今回は敷地内に自走式立体駐車場を整備した「道の駅 富士川楽座」の現地視察をもとに、今後を展望します。



「道の駅 富士川楽座」に整備された自走式立体駐車場（屋上階）。正面に見えるのが施設本館。

隣接する「EXPASA富士川上り」の「フジスカイビュー」

駐車場不足に悩む「道の駅」「SA・PA」

観光振興、地域活性化に資する施設として全国各地に展開する「道の駅」の中には、人気の高さゆえに駐車場の収容能力不足という課題を抱えているところも少なくないようです。

この課題に対し、当工業会は国土交通大臣認定自走式立体駐車場（以下、「認定自走式駐車場」）の導入が有効な解決策になると考え、調査、研究を進めています。また、近年では地域によっては「道の駅」を防

災拠点として活用する動きが進んでいて、国土交通省では、都道府県の地域防災計画などにおいて広域的な防災拠点として位置づけられた「道の駅」を「防災道の駅」として選定し、重点的な支援を行う取り組みを推進しています。認定自走式駐車場は日常時の駐車場としての役割に加え、津波や洪水等の災害発生時には垂直避難施設として機能する「フェーズフリー」な施設であることから、「防災」の視点からも「道の駅」に貢献できるものと考えています。



富士市 産業交流部 交通観光課

富士市 建設部 道路維持課

富士市役所

「道の駅 富士川楽座」2層3段型自走式立体駐車場



駐車場不足を解消するため敷地内に整備された2層3段型自走式立体駐車場。敷地の東側には観光バスの駐車場があり、そこから富士川スマートICを利用するためにはこの自走式立体駐車場内を通過する必要があるため、1階部分は階高3.8mが確保されている。



観覧車「フジスカイビュー」は東名高速道路のSA「EXPASA富士川上り」の敷地内にあり、その向こうに見える建物が「道の駅 富士川楽座」の施設本館。写真に向かってその建物の左隣、観覧車の奥のあたりに自走式立体駐車場が見え隠れしている。
(資料写真)



また、高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)も同様に繁忙期の駐車場不足という課題を抱えていますが、特に物流を支える大型トラックの駐車場の確保等を目的に、現在、駐車場の立体構造化を含めた調査研究が進められています。当工業会としてもこの動向を注視し、情報収集および関係各所との意見交換に取り組んでいるところです。

当工業会はこれら取り組みの一環として先般、敷地内に自走式立体駐車場を有する静岡県富士市の

「道の駅 富士川楽座」を視察し、富士市産業交流部交通観光課および建設部道路維持課を訪問し、意見交換を行いました。

2012年に自走式立体駐車場を導入した「道の駅 富士川楽座」

富士市に立地する「道の駅 富士川楽座」は、東名高速道路のサービスエリア「EXPASA富士川上り」に隣接し、一般道および高速道路(上り線)両方からの

(次ページに続きます)

「道の駅 富士川楽座」2層3段型自走式立体駐車場



2層3段型自走式立体駐車場に210台を収容する。敷地内駐車場は108台分増えたことになり(160台→268台)、駐車場不足を大幅に解消した。



EV用急速充電器のほか、テスラ専用スーパーチャージャーも設置。

アクセスが可能なハイウェイオアシスとして整備されています。富士山を望む絶好のロケーションやプラネタリウム等の充実した施設を備え、2000年のオープン以来、高い人気を集めてきました。

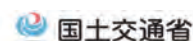
オープン当初、敷地内には160台分の平面駐車場(大型9台、身障者用4台を含む)が整備されていたものの、繁忙期や休日には駐車場が満車となり、駐車場

の空き待ちによる渋滞が発生、周辺道路には路上駐車も見られるなど駐車場不足が深刻化。閑散期の平日でも1日のピーク時にはほぼ満車となるような状況だったそうです。

この課題に対処するため、富士市は2010年に自走式立体駐車場整備事業に着手。総費用約3億円を投じ、210台を収容する2層3段型自走式立体駐車場を整備し、2012年より供用を開始しました。なお、費用の約1/3には「静岡県観光施設整備事業」の補助金が充当されています。この整備事業により敷地全体の駐車台数は合計268台に増加することとなり、現在も繁忙期のピーク時には一時的に満車になることはあるものの、かつてのような深刻な駐車場不足は大きく解消されたとのこと。

なお、供用開始から10年以上が経過していることから、屋上階の塗膜防水の劣化など、修繕が必要な箇所も出始めているようです。

SA・PAの確実な駐車機会の提供について



背景

○8時間以上の長時間駐車車両による時間占有率が過半を超えており、その影響で深夜帯を中心に駐車マスが不足

■SA・PAにおける深夜時間帯の混雑状況（E1 東名 海老名SA（上り））



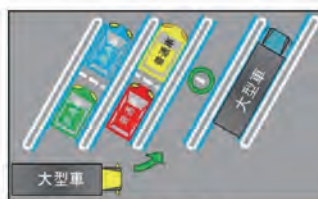
深夜時間帯における混雑状況（R2.10.22（木）23時）



対策

■大型車駐車マスの拡充

- ・平成29年度末の約27,000台から、令和6年度末時点で約31,000台まで拡充
- ・令和7年度は、さらに約510台の拡充を予定



兼用マスの設置による大型車駐車マスの拡充

■短時間限定駐車マスの導入

- ・短時間利用者の多い休憩施設などを対象に、短時間限定駐車マスを導入（SA・PA6箇所 368マスにて整備中）



短時間限定駐車マス（東名 足柄SA（上り））

■立体化・複数縦列式（コラム式）の導入

- ・駐車容量の最大化・最適化のため、駐車場の立体化（E1東名 船沢PA（上り）、複数縦列式（コラム式）（E2山陽道 佐波川SA（下り））を導入



ドイツ（コンパクト駐車場：Jura-West）における複数縦列式の事例



駐車場の立体構造化イメージ

7

ピーク期の駐車場需要への対応、そして慢性的な大型トラックの駐車場不足へ対応するため、国土交通省をはじめとする関係機関ではSA・PAの駐車場の立体構造化を含め、様々な検討を進めている。（資料は今年6月 国土交通省「道路分野における物流効率化の取組について」<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/content/001894751.pdf>）

物流トラックの駐車場所確保のために

今回訪問した富士市建設部道路維持課との意見交換では、認定自走式駐車場が総務省「緊急防災・減災事業債」および国土交通省「都市防災総合推進事業」の支援制度の対象であること、また、現在、災害時に使用する公用車の水没を避けるため、自走式駐車場の上階を公用車の駐車場所として活用している自治体もあることなどをお伝えすると、支援制度の具体的な内容や適用範囲に関する詳細な質問をいただき、また、「関係部署と情報を共有したい」と前向きな意向を聞くことができました。

2025年6月13日現在、全国には「道の駅」が1,230箇所存在します。その中には「道の駅 富士川楽座」がかつて経験したような駐車場不足の問題に直面している施設も少なくないようですが、現在のところ

敷地内に自走式立体駐車場を有する「道の駅」は、「富士川楽座」を含めてわずか3例にとどまっています。当工業会としては、認定自走式駐車場の導入が進むよう、さらにPRしていきたいと考えています。

また、高速道路のSA・PAについては、「道の駅」同様、ピーク時の駐車場不足、特に物流トラック等大型車両の駐車場不足に対する解決策として、駐車場の立体構造化——普通車用駐車場を立体構造化し、平面駐車場を物流トラック等大型車両に振り分ける——を含めさまざまな検討が進められています。当工業会として、それら取り組みに貢献できると考えています。

駐車場不足を解消し、地域の防災・減災にも資する社会インフラとして、認定自走式駐車場の普及に資する活動を今後も進めてまいります。

国土交通大臣認定自走式立体駐車場の“役割”

円滑な空の移動を支えるための “空港駐車場の立体構造化”について

全国各地の空港についても、駐車場不足が課題となっているところがあります。そしてまた、その課題に対する有効な解決策が自走式立体駐車場の導入であることは、多くの先行事例が示しているといえます。現在は平面駐車場のみで運営されている茨城空港では、有識者らで構成される「茨城空港のあり方検討会」による「将来ビジョン(案)」の中で、駐車場の立体化という案が示されています。

今年の4月24日、茨城空港(茨城県小美玉市)の将来像について検討する「茨城空港のあり方検討会」(座長:平田輝満茨城大学大学院教授)が「茨城空港将来ビジョン(案)」をまとめ、県に提言を行いました。有識者等で構成されるこの検討会では、茨城空港(茨城県小美玉市)の利用拡大に向けた将来像を議論。路線ネットワーク拡大のための具体的取り組みとしてのターミナルビル拡張や取付誘導路複線化などといった提案とともに、「駐車場の利便性向上を図る」ため、「ターミナルビルに近接する第1、第2駐車場を立体駐車場として再編」という案が示されました。

当工業会では6月25日に茨城県空港対策課を訪問し、この案について話を聞いたところ、同空港への自走式立体駐車場の整備については現時点ではあくまでも将来像を描く計画の段階であ

り、それが実際に整備計画として具体化されるのかについては、まだ決まっていないのが現状とのことでした。

しかしながらその一方で、自走式立体駐車場の整備について、他の地方空港の先行事例の情報収集を行うなどの取り組みは進められているようで、当工業会からは認定自走式駐車場の特長等についてご案内しました。

「有料化してもいいので混雑の改善を」

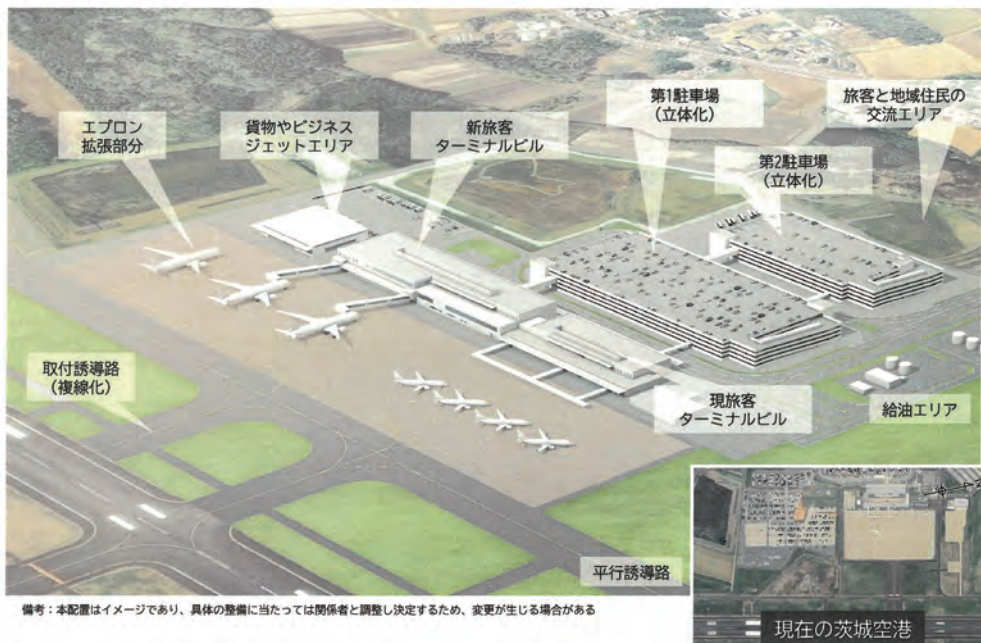
茨城空港は現在、6箇所の無料駐車場で合計約3,600台が収容可能となっていますが、ターミナルビルに近い第1・第2・第3駐車場への駐車希望が多く、混雑が発生している状況にあるとのことで、「茨城空港将来ビジョン(案)」の中でも「将来への期待に関するアンケートでは、有料化してもよいので混



茨城空港。現在は6区画の無料平面駐車場で約3,600台を収容する。
(資料写真)



5. 将来の茨城空港イメージ（案）



茨城県が公開した「茨城空港将来ビジョン～首都圏第3の空港を目指して～【概要版】」※でも「将来の茨城空港イメージ（案）」として第1・第2駐車場に自走式立体駐車場を導入したイメージ図が示されている。

※： https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kutai/riyo/kyogikai/documents/documents/202507_visiongaiyou.pdf

雑の改善や事前予約を期待する意見があった」と指摘されています。

駐車場不足に悩む空港の課題解決に

コロナ禍が収束し、人の移動が活発化するとともに、最近のインバウンドの急速な拡大などによって、地方空港では駐車場の収容力不足という課題が浮き彫りになっているところもあるようです。去る6月30日には、鹿児島空港事務所にて「鹿児島空港駐車場の混雑緩和等に向けた検討会」が開催されています。この検討会では、週末を中心に慢性的な駐車場の混雑に悩む同空港の「混雑緩和及び利用者利便性向上に向け、関係者で連携し、課題解決に向けた今後の取組等を議論する」とされています。

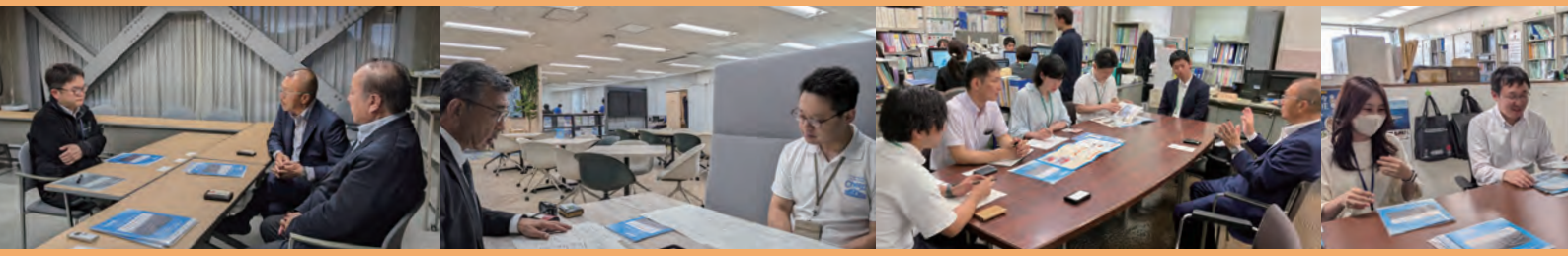
収容効率に優れる認定自走式駐車場は、平面駐車場に対し大幅に駐車台数を増やすことができ、同時に、空港利用時は大きな荷物を伴う場合が多いこと



慢性的な駐車場不足が課題とされる鹿児島空港では、駐車場の混雑緩和に向けた「検討会」が設置された。（資料写真）

から「できるだけターミナルの近くに駐車したい」と考える利用者の要望にも応えることができ、空港付帯の駐車場として非常に適しています。

当工業会として、各地の空港の駐車場不足という課題解消に資する取り組みを、今後も積極的に進めてまいりたいと考えています。



災害発生時に“垂直避難施設”として機能し
国の支援制度の対象であることを広報

2025年 自治体訪問活動 報告

当工業会では、国土交通大臣認定自走式立体駐車場が津波や洪水等の災害発生時に
垂直避難施設として機能する「フェーズフリー」な施設であること、
また、避難施設の整備に対する国の支援制度の対象に含まれていることをお伝えするため
自治体訪問活動に取り組んでいます。今年は日本海沿岸部の自治体も訪問し、
防災・減災のあり方について意見交換を進めています。

ここまでの本誌記事でも触れているとおり、国土交通大臣認定自走式立体駐車場（以下「認定自走式駐車場」）が、津波や洪水等の災害発生時に垂直避難施設として機能することから、避難施設の整備に対する国の支援制度である総務省「緊急防災・減災事業債（以下「緊防債」）」及び国土交通省「都

市防災総合推進事業（以下「都市防」）」の支援対象として認められています※。当工業会ではこのことを広くお伝えし、また、各地の防災・減災のあり方について意見交換を行うため、全国の地方自治体を訪問する活動を継続的に行っています。この自治体訪問活動は2012年7月から開始してお

※：詳細は本誌P.34～



境港市役所

境港市民交流センター「みなとテラス」
市民図書館、防災施設としての機能を
有し、消防・防災関連イベントも開催。





自治体 訪問先一覧

2月12日	境港市	総務部 防災危機管理課	6月30日	富山市	活力都市創造部 都市計画課
	倉吉市	総務部 防災安全課		富山県	土木部 都市計画課
2月13日	鳥取県	生活環境部 暮らしの安全局 まちづくり課	7月1日	高岡市	地方創生局ワンチームとやま推進室 市町村支援課
		地域づくり推進部 市町村課 財政担当			都市創造部 都市計画課
5月12日	敦賀市	まちづくり観光部 交通政策課	7月7日	八幡浜市	産業建設部 水産港湾課
	福井県	総務部 市町協働課 財政グループ		愛媛県	総務部 総務管理局 市町振興課
		土木部 都市計画課 都市計画・支援グループ			土木部 道路都市局 都市計画課
5月13日	金沢市	都市整備局 市街地再生課	7月8日	丸亀市	都市整備部 都市計画課
6月23日	富士市	産業交流部 交流観光課			
		建設部 道路維持課			

り、当初は南海トラフ巨大地震に伴う津波対策が求められる太平洋沿岸部の自治体を中心に訪問していましたが、今日まで活動を継続する中でその対象を日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、首都直下地震、あるいは集中豪雨等に起因する河川氾濫による被害等が想定される地域に広げてきました。そして昨年1月に発生した能登半島地震を受け、現在は日本海側沿岸部の自治体も訪問し、意見交換を進めています。

日常時は駐車場として、災害発生時には 垂直避難施設として機能

訪問先では、国の支援制度「緊防債」及び「都市防」の対象であること、そしてこれまでの各地の整備事例などについて説明すると、支援制度の具体的内容や、実際に認定自走式駐車場のどの部分までが支援の対象になるのかといった点に興味を

持っていただき、質問を多くいただきました。また、「津波避難タワーよりも平常時に活用できる」「スロープを利用して上階に移動できるため、高齢者の避難にも適している」と評価する声もいただくことができました。ある自治体では、老朽化した公営駐車場の建て替えを検討しているとのことで、整備の際にはこれら支援制度の活用を視野に入りたいという前向きなお話もありました。

多様な移動手段を集約する 「モビリティハブ」としての役割も担う

訪問したそれぞれの自治体では、災害対策としてさまざまな取り組みをされていました。境港市（鳥取県）では、「市民交流センター」「市民図書館」「防災」の3つの機能を兼ね備えた複合施設「みなとテラス」を視察させていただきました。施設の2階は津波発生時の避難所として指定されていて、

（次ページに続きます）



敦賀市役所

市役所に隣接する2層3段型自走式立体駐車場。消防庁舎と合わせて「緊防債」を活用し整備。



北陸新幹線の延伸により終着駅となった敦賀駅の駅前には5層6段型認定自走式駐車場を整備。場内1階には駐輪場とシェアサイクルポートを併設、2階の駐車場スペースにはカーシェア用ステーションも設置され、交通結節点「モビリティハブ」としての機能も実現している。

市の防災危機管理課も同じフロアに設置されていました。

敦賀市（福井県）では、2022年より共用を開始した新市庁舎の建設の際に、敷地内に2層3段型自走式立体駐車場を併設。これは隣接する敦賀美方消防組合消防庁舎の建設を含めた「市庁舎・消防庁舎建設基本計画」の一環として整備されたもので、市庁舎については防災拠点機能を高めるため免震構造を採用するとともに、自家発電システム、

貯水槽の設置などが行われています。なお、これらの整備には「緊防災」が活用されたとのことでした。また、北陸新幹線の延伸で終着駅となった敦賀駅の駅前には5層6段型認定自走式駐車場が整備されていて、その1階部分には駐輪場とシェアサイクルポート、2階部分にはカーシェア用ステーションも設けられていました。これは、認定自走式駐車場が自動車の駐車場としてのみならず、さまざまな移動ツールを集約する交通結節点「モビ

⑤緑化駐車場エリア

【整備イメージ】

立体・平面駐車場を整備し、イベント時は平面駐車場を隣接する広場と一体的に活用



丸亀市大手町地区4街区南街区再編整備基本計画書：

<https://www.city.marugame.lg.jp/uploaded/attachment/21377.pdf>



図 6.2 計画パース

丸亀市が策定した「丸亀市大手町地区4街区再編整備基本」より抜粋。手前左側に見える市庁舎のすぐ向こうに「緑化駐車場エリア」が設けられているのがわかる。緑あふれる平面駐車場に隣接するかたちで5層6段型自走式立体駐車場が整備される計画で、2027年供用開始予定。



丸亀市役所。写真奥に見えるのが丸亀城 天守。上の計画パース図とちょうど同じ方向を見ていることになる。ちょうど市庁舎に隠れているあたりに自走式立体駐車場を整備する計画だ。

リティハブ」としても機能し、地域の多様な移動を支える拠点となりうることを示すものであり、認定自走式駐車場のさらなる可能性を象徴する事例といえます。

そのほかの自治体でも、『「八幡浜港みらいプロジェクト」で3層4段型自走式立体駐車場の整備を計画している（「緊防債」を活用予定）』（愛媛県八幡浜市）といった具体的な計画や取り組みを聞くことができました。

「緑化駐車場エリア」に 5層6段型自走式立体駐車場の整備を計画

訪問先のひとつである丸亀市（香川県）では現在、「丸亀市大手町地区4街区南街区再編整備基本計画」のもと、市庁舎、消防署、税務署、市民交流活動センターなどが集約する市の重要エリアの再整

備が進められていて、その一環として市庁舎に隣接する区画を「緑化駐車場エリア」として、植栽をふんだんに採り入れた平面駐車場と自走式立体駐車場を組み合わせるという計画が策定されています。ここには5層6段型自走式立体駐車場が整備されることでした（2027年7月供用開始予定）。このように、収容効率に優れる認定自走式駐車場は、まちの中心部にありながら、まちの機能を分断することなく利便性を提供することが可能です。

当工業会では今後も、認定自走式駐車場が収容効率に優れた駐車施設であり、さらに日常時の利便性と非常時の垂直避難施設としての機能を兼ね備えた「フェーズフリー」な施設であること、そして国の支援制度の対象であることを広くお伝えするため、引き続き自治体への情報提供、意見交換を積極的に進めてまいります。

国土交通大臣認定 自走式立体駐車場は「避難施設」に

国土交通大臣認定自走式立体駐車場（以下「認定自走式駐車場」）は津波や洪水等の災害発生時に垂直避難施設として機能することから、避難施設の整備を対象とした国の支援制度——総務省「緊急防災・減災事業債（以下「緊防債」）」及び国土交通省「都市防災総合推進事業（以下「都市防」）」——の支援対象として認められています。

当工業会が総務省と意見交換を重ねた結果、認定自走式駐車場が避難施設として「緊防債」の支援対象であることを確認することができました。同様に、国土交通省からも「都市防」の対象になると確認することができました。内閣府（防災担当）との意見交換では「自走式立体駐車場はまさにフェーズフリーな施設だ」との言葉もありました。また、「緊防債」「都市防」ともに「避難施設」への支援制度であることから、自走式立体駐車場の場合、具体的にどの部分が支援の対象となるかにつ

いても明確にする必要がありました。当工業会としては、自走式立体駐車場の基礎部分等を含め、右図の赤色で示した部分が「避難施設として必要な構成要素であること」から支援対象になるとの見解を持っていましたが、国土交通省都市局 都市安全課との意見交換において、国土交通省も同様の見解——施設において避難用に使用される部分が支援対象——であることが明確になりました。ハザードマップで津波や洪水の到達高さより上にある階およびその階につながるスロープ車路につい

活用可能な国の支援制度

緊急防災・減災事業債 総務省

東日本大震災を教訓として、全国的に緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災のための地方単独事業が対象（事業期間 令和7年度まで）

対象事業

大規模災害時の防災・減災対策のために必要な施設整備

緊急防災・減災事業債（充当率100%）

元利償還金の70%を地方交付税措置

一般財源

都市防災総合推進事業 国土交通省

避難地・避難路等の公共施設整備や避難場所の整備、避難地・避難路周辺の建築物の不燃化、木造老朽建築物の除却及び住民の防災に対する意識の向上等を推

進し、防災上危険な市街地における地区レベルの防災性の向上を図る地方公共団体の取組を「都市防災総合推進事業」（防災・安全交付金の基幹事業）により支援

事業主体

市町村、都道府県

事業メニュー

地区公共施設等整備

交付対象

地区緊急避難施設

国費率

用地 1/3

工事 1/2 または 2/3 ※

間接補助については、地方公共団体の補助に要する費用の1/2又は当該事業に要する費用の1/3のいずれか低い額とする。※：南海トラフ特措法又は日本海溝・千島海溝特措法に基づく津波避難対策緊急事業計画に位置付けられ、一定の要件を満たす避難場所、避難路の整備については国費率2/3

地区要件

施行地区：災害の危険性が高い区域（浸水想定区域、土砂 / 津波 / 火山災害警戒区域（地域）等）を含む市街地、大規模地震発生の可能性の高い地域、重点密集市街地を含む市、DID 地区
地震防災対策強化地域、南海トラフ地震防災対策推進地域、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域

対する国の支援制度の対象として認められています



支援制度の対象となるのは……

- ① 避難スペース
- ② 避難スペースへの通行手段となる階段やスロープ等
- ③ 上記建築に不可欠な基礎等 ※ 全体工事費における面積で按分

では、（地元自治体との話し合いにより）避難時にスロープを全部使うということであれば「スロープ全体が対象」となり（避難に使用しないのであれば対象にはならず、スロープの半分しか使用しないということであれば1/2が対象となる）、基礎に対する支援対象は、全体工事費に対し避難対象面積割合で按分されることになります。

公共施設が対象の「緊防債」に対し、民間施設も支援の対象となる「都市防」については、自治体によっては民間施設への公的資金の投入に抵抗を感じるという傾向もあるためか、現在のところ、実際の活用の動きは鈍いようです。しかしながら、国土交通省は「民間の建物が津波避難ビル等に指定されるのは重要なことと考えている。国として



都市防の活用を推進していきたい」との意向を明らかにしています。なお、認定自走式駐車場の屋上部分は建築基準法上は床面積に算入されませんが、避難用として使用する場合、「床面積に算入しても構わない」とのことです。

一連の取り組みを通じて一層明確になったこれらの点を踏まえ、当工業会としては今後も「緊防債」並びに「都市防」の活用推進を図るべく、活動してまいりたいと考えています。

兵庫県播磨姫路総合医療センター 立体駐車場
建設地 : 兵庫県姫路市
収容台数 : 820台

株式会社 北川鉄工所

〒726-8610
広島県府中市元町77-1
TEL 0847-40-0534
FAX 0547-45-2578
<https://prod.kiw.co.jp/parking/>



IELENT

- 自走式立体駐車場・建設工事の設計・施工
- カーポート、ガレージ
- 自動車部品
- 工作機器
- 脱臭装置、環境機器開発



近藤工業株式会社

www.kogyo.kondo.co.jp

立体駐車場の建設からメンテナンスまで安心を届ける。



株式会社 トーカイロード

〒467-0806
愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通5丁目27-8
TEL : 052-858-4300 FAX : 052-858-4301
<https://www.tokairoad.co.jp/>

短納期

低コスト

スペース効率

高収益性

～ 環境にやさしい機能的な駐車場建設を追及 ～

努力と創造、そして挑戦へ

- ≫ 様々な土地の形状に対応
- ≫ 最適なレイアウトを計画
- ≫ 高いスペース効率を誇る



▲ フラット型



▲ スキップ型



▲ 連続傾床型

株式会社 豊国ショウワパーク

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目3番12号 新大阪明幸ビル406号
TEL:06-6399-0700 FAX:06-6399-0600 E-mail:am@showapark.co.jp



立体駐車場用 鋼板パネル DK パネル



- 耐食性に優れた、ガルバリウムカラー鋼板を採用
- H型鋼に落とし込むだけの無足場工法
- 弊社独自の固定工法（スプリングアングル）で、簡単施工

富士プレハブ工業株式会社

大阪事業所：大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10
A T C ビルオズ棟北館 5階
TEL. 06-6613-0345 FAX. 06-6613-2101

“ともに、未来につづく道を”



M A E D A

前田道路株式会社



SINCE1925

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL：03-5487-0011（代）

北海道支店・東北支店・北関東支店・東京支店・西関東支店・北陸支店
中部支店・関西支店・中国支店・四国支店・九州支店

<https://ssl.maedaroad.co.jp/>

工 業 会 活 動 報 告

2024年度下期以降

当工業会の理事会及び各部会——総務部会、技術部会（及び建設委員会）、企画部会（及び広報委員会）——における活動について、本誌『ぷれば』前号発行^{*}以降から現在までの取り組みを報告します。

※第82号：2024年10月発行（9月校了）

理 事 会

【開催日】2024年度下期（出席者）

2024年 9月 5日（理事長以下12名出席）
2024年12月12日（理事長以下11名出席）
2025年 1月17日（理事長以下12名出席）
2025年 3月 6日（理事長以下12名出席）

2025年 4月24日（理事長以下12名出席）
2025年 5月20日（理事長以下12名出席）

▶ 2025年度（出席者）

2025年 6月26日（理事長以下12名出席）

理事長（2024年度：栗本理事長、2025年度：清家理事長）はじめ理事出席のもと上記日程で理事会を開催し、当工業会を取り巻く課題、現在の取り組み、予算執行状況、会員動静等について確認、協議を行いました。

2024年度下期の理事会における主な議事としては、**2024年12月度理事会**では上期（2024年度9月期）の収支実績・会計監査結果の報告が行われ、また、技術部会役員とING社との意見交換（消防庁が実施した車両燃焼実験結果を踏まえた検討等）について報告があり、関連する情報を会員間で共有し、引き続き課題に取り組んでいくことを確認しました。

2025年1月度理事会では、2025年3月期の収支見込みについて説明があり、支出抑制策について情報共有を行いました。**3月度理事会**では、2025年度の主な行事予定について協議し、また、予算について質疑応答が行われ、素案として承認されました。なお、3月度理事会に先立ち2月に開かれた執行理事会において決定した2025年度新体

制に係る役員選考委員の選任（3名）について報告があり、議長が改めてこの3月度理事会に諮った上で、3名全員が承認されました。

4月度理事会では、2025年3月期決算の概要について説明が行われました。また、2025年度新体制における役員の交代、新たな理事の候補者について報告が行われました。なお、今後の行事予定として承認されていた「新旧理事・監事交流会」について、移動費の高騰や当工業会の財政状況を鑑み実施の見直しが提起され、協議の結果遠方への出張を伴うかたちでの開催はしないことが了承されました。また、大臣認定自走式駐車場の「認定品表示板」に相当する、2層3段以下の自走式駐車場に掲示する「施工物件表示板（仮）」について、企画部会・広報委員会の実現に向け企画を進めることが了承されました。また、（一社）全国道の駅連絡会への賛助会員入会についても了承され、申請手続きを進めることとなりました。

新体制の元で開催された**2025年6月度理事会**では、新賛助会員入会の承認などが行われました。

総務部会

2024年度 上期総務部会

【開催日】2024年10月16日

(理事長及び総務部会長、企画・技術両部会長及び広報・建設両委員会より役員計13名)

2024年度 下期総務部会

【開催日】2025年4月17日

(理事長及び総務部会長、企画・技術両部会長及び広報・建設両委員会より役員計14名)

総務部会では2024年度事業計画に基づく各部会・各委員会の活動状況について報告が行われ、上期総務部会では下期の活動予定について、下期総務部会では次年度事業計画案の骨子となる活動方針等について協議を行いました。

2024年度上期総務部会では、技術部会から屋上階の有効活用、融雪剤による合成スラブデッキプレートの腐食対策、高速道路SA・PA駐車場の多層化、開放性ルールの軽微変更、事務連絡2.5t対応等について報告があり、企画部会からは、電気自動車及び太陽光発電のガイドブック作成、自治体訪問活動、会員研修会等について報告がありました。なお、それぞれの下期の活動予定についても協議を行いました。

2024年度下期総務部会では、上期総務部会と同様に各部会における活動の総括を行い、来たる新年度(2025年度)の活動計画について協議が行われました。具体的計画として技術部会



2024年度 上期総務部会の様子

からは前年度から継続する取り組みに加え、当工業会独自の「次世代に向けた新たな共同認定」の検討などが示されました。企画部会は、災害発生時の認定自走式駐車場の緊急利用等について案内するリーフレットの作成、「施工物件表示板(仮)」の検討、「道の駅」への認定自走式駐車場整備拡大に向けた検討、SA・PAへの導入の具体的提案、自治体訪問活動の日本海側への展開等について説明がありました。

TOPICS

衆議院議長公邸を表敬訪問しました

2025年6月26日、自走式駐車場議員連盟顧問である額賀福志郎衆議院議長より千代田区永田町の衆議院議長公邸にお招きいただき、当工業会幹部が表敬訪問をしました。公邸内をご案内いただき、また、庭園なども拝見することができ、非常に貴重な機会となりました。

自走式駐車場議員連盟顧問の額賀福志郎衆議院議長(前例中央)と記念撮影。向かって前列右に当工業会清家理事長、左に中川副理事長、後列左から亀村専務理事、米山執行理事、知田執行理事、船水執行理事、若山事務局長



技術部会

【開催日】2024年度下期（出席者）

2024年11月14日（技術部会長以下計13名）
 2025年1月16日（技術部会長以下計13名）
 2025年2月13日（建設委員会合同。技術部会長以下25名）
 2025年4月18日（技術部会長以下計16名）

▶ 2025年度（出席者）

2025年6月19日（技術部会長以下計16名）
 2025年8月20日（技術部会長以下計12名）

2024年度下期は（一財）日本建築センターと意見交換会を行い、EV充電設備、付帯施設用途（機械室・電気室）の追加、防鳥ネットの材質等について協議しました。また、認定自走式駐車場の屋上の有効活用等（緑化・公園の設置等）について国土交通省住宅局 建築指導課と意見交換を実施し、屋上緑化や付帯施設用途等についても同課の見解を確認しています。今後も同様のテーマについて、引き続き取り組んでいくこととしています。また、総務省消防庁の「消防用設備等

の設置・維持のあり方に関する検討部会」にオブザーバー参加し、知見を共有しています。

2025年度の活動については、2024年度の取り組みを継続して進め、開放性ルールの改定他、認定自走式駐車場にかかる具体的課題について協議を行い、NEXCO中日本への訪問活動を通じたSA・PAへの認定自走式駐車場の導入、また、「次世代に向けた新たな共同認定」の検討についても取り組んでいく予定としています。

企画部会

【開催日】2024年度下期（出席者）

2024年10月11日（広報委員会合同。企画部会長以下計10名）
 2024年12月13日（企画部会長以下計14名）
 2025年2月14日（企画部会長以下計8名）
 2025年4月10日（企画部会長以下計9名）

▶ 2025年度（出席者）

2025年6月9日（広報委員会合同。企画部会長以下計18名）
 2025年8月4日（企画部会長以下計13名）

会員研修会の企画内容について検討を行い、2024年11月14日、2025年3月27日にそれぞれ実施しました（次ページ参照）。また、自治体訪問活動について、訪問先の選定及び参加者の調整を行い、訪問後はその成果を共有しました。広報委員会との合同開催時には、会報誌『ぶれば』のあり方、業界専門誌『パーキングプレス』に連載中の当工業会専用ページの企画の検討、「施工物表示板（仮）」の実現に向けた協議を行っています。なお、認定自走式駐車場の「災害時における具体的利用の提案」をテーマとするリーフレットの作

成についても検討を進めています。

2024年度後半には次年度（2025年度）の活動テーマについても検討を進め、自治体訪問活動の日本海側沿岸部への拡大、「道の駅」に関する情報収集、PA・SAの駐車場の立体構造化への対応などが協議され、新体制となった2025年6月会議では、それらを含めた具体的活動テーマ——災害時利用を提案するリーフレットの作成、「施工物表示板（仮）」の検討、EV、自動運転、ドローン等新技術への対応、『ぶれば』刷新案など——について共有しました。

会員研修会

企画部会の企画・運営のもと、認定自走式駐車場に関連した施設等の現地視察の実施、外部から講師をお招きしての講演会等を開催しています。

2024年度 第2回 会員研修会

【開催日】2024年11月14日（参加会員40名）

【内 容】

現地見学：品川プリンスホテル・ワテラス・大手町野村ビル 各駐車場

講演：ピットデザイン株式会社

■ 現地視察

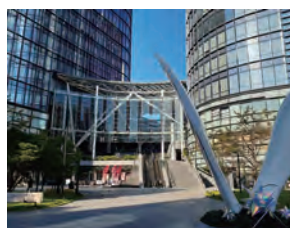
駐車場のスロープ途中にカメラを設置したことで、階層ごとに異なる料金設定を行うことが可能という車番カメラ認識方式のメリットを学びました。カメラ設置により管理人を減らすことができる点も参考になりました。

■ 講演

ピットデザイン株式会社の池末浩規氏にご講演いただきました。カメラ認識は同社「スマートパーク」を構成するひとつの機能であり、カメラ認識を含めた「スマートパーク」全体の利点や先進性（未払い出庫車の情報共有など）について、興味深い話を聞くことができました。カメラシステムの導入には、付帯店舗等の盗難・万引き行為が減る効果もあるそうです。駐車場利用者にとってフレンド



品川プリンスホテル（東京都港区）



ワテラス（東京都千代田区）



大手町野村ビル（東京都千代田区）

リーな駐車場であることが、その駐車場を導入した施設にとってメリットになるとのことでした。

2024年度 第2回 会員研修会

【開催日】2025年3月27日（参加会員71名）

【内 容】講演：合同会社DMM.com / 株式会社アミューズメントプレスジャパン / 株式会社鉄鋼新聞社

合同会社DMM.com 大嶺優樹氏は同社のEVインフラ事業について、4,500万人以上の会員がDMMのさまざまなコンテンツを楽しんでいることから「EV充電中でも動画やアニメ、ゲームなどで待ち時間を楽しめるという強みを活かせると考えています」、株式会社アミューズメントプレスジャパンの高袖佑基氏はパチンコホール業界の最近のトピックとして「来客用駐車場の災害時活用について自治体と協定を締結する事例が増えてい

ます」、株式会社鉄鋼新聞社の新谷晃成氏は最近の鋼材市況について「鉄骨需要

の減少により現在は下落基調にある一方で、労務や電設工事の高騰の影響で鉄骨造の工事単価は上昇を続け、今後も難しい状況が続くと思われます」とお話しいただきました。



大臣認定自走式立体駐車場 2024 (令和6) 年度実績報告 (概要) について

当工業会では、加盟する正会員企業（メーカー全13社）が1年間に設計・施工等を行った国土交通大臣認定品の自走式立体駐車場（以下、認定自走式駐車場という。）の製造実績の取り纏めを行っています。今号では昨年に引き続き、直近（令和6年度〔2024年4月～2025年3月〕）の実績報告（概要）を掲載します。（なお、本実績報告では建築基準法に基づく国土交通大臣認定の基準に準ずる防耐火等の性能

を有する建築物として、事務連絡による2層3段以下の自走式自動車車庫も含めて集計しています。）

また、この実績報告は平成4年（1992年）度より集計作業を継続しており、30年以上に亘って追跡記録した当工業会にとって貴重な集積データとなっています。集計を開始した平成4年（1992年）当時は、1層2段型（1階と2階屋上を自動車車庫として使用する形式のもの）が主流を占める状況でしたが、

【日本自走式駐車場工業会における製造実績推移（在来工法を除く）】

項目	92年度 H4年度	93年度 H5年度	94年度 H6年度	95年度 H7年度	96年度 H8年度	97年度 H9年度	98年度 H10年度	99年度 H11年度	00年度 H12年度	01年度 H13年度	02年度 H14年度	03年度 H15年度
物件数 (件)	320	430	445	502	485	493	493	474	504	536	555	492
鋼製床版	320	430	445	450	298	234	142	86	52	29	21	22
P C・合成床版、その他	—	—	—	52	187	259	351	388	452	507	534	470
構造 (S造)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1層2段型	320	430	419	406	345	343	318	313	275	257	174	162
2層3段型	—	—	26	96	140	150	175	161	196	176	182	186
3層4段型	—	—	—	—	—	—	—	—	33	103	199	144
4層5段型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5層6段型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6層7段型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
施設併用型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延べ床面積 (単位：千㎡)	503,040	675,960	699,540	789,130	890,198	883,453	910,763	951,370	1,443,697	1,482,170	2,240,718	2,001,080
1件あたりの延床面積 (㎡)	1,572	1,572	1,572	1,572	1,835	1,792	1,847	2,007	2,864	2,765	4,037	4,067
収容台数 (単位：台)	41,280	55,470	57,405	64,615	61,093	68,438	66,673	64,744	81,971	92,283	120,221	101,698
1件あたりの収容台数 (台)	129	129	129	129	126	139	135	137	163	172	217	207

項目	04年度 H16年度	05年度 H17年度	06年度 H18年度	07年度 H19年度	08年度 H20年度	09年度 H21年度	10年度 H22年度	11年度 H23年度	12年度 H24年度	13年度 H25年度	14年度 H26年度	15年度 H27年度
物件数 (件)	474	508	541	408	289	208	183	151	186	187	147	141
鋼製床版	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
P C・合成床版、その他	473	507	540	408	289	207	182	151	186	187	147	—
構造 (S造)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141
1層2段型	110	119	138	80	54	38	45	27	32	25	25	18
2層3段型	169	159	170	158	99	71	61	52	62	61	52	54
3層4段型	148	138	131	77	58	36	35	39	45	42	29	22
4層5段型	47	85	84	60	54	45	22	19	26	38	19	18
5層6段型	—	7	18	23	22	13	14	6	11	14	13	19
6層7段型	—	—	—	4	0	2	0	0	3	2	1	0
施設併用型	—	—	—	6	2	3	6	8	7	5	8	10
延べ床面積 (単位：千㎡)	2,259,666	2,654,819	2,695,498	2,172,333	1,747,352	1,106,354	892,233	729,060	916,522	964,051	830,364	849,951
1件あたりの延床面積 (㎡)	4,767	5,226	4,982	5,324	6,046	5,319	4,876	4,828	4,928	5,155	5,649	6,028
収容台数 (単位：台)	118,498	128,410	131,417	100,966	81,718	50,011	48,293	36,515	43,648	49,252	41,519	39,057
1件あたりの収容台数 (台)	250	253	243	247	283	240	264	242	235	263	282	277

項目	16年度 H28年度	17年度 H29年度	18年度 H30年度	19年度 R元年度	20年度 R2年度	21年度 R3年度	22年度 R4年度	23年度 R5年度	24年度 R6年度	合 計 ストック量
物件数 (件)	155	130	144	125	120	108	95	79	66	10,174
鋼製床版	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,534
P C・合成床版、その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,477
構造 (S造)	155	130	144	125	120	108	95	79	66	1,163
1層2段型	15	16	21	19	11	15	10	13	5	4,598
2層3段型	48	49	50	34	46	38	23	28	24	2,996
3層4段型	30	22	22	20	14	12	15	11	6	1,431
4層5段型	27	23	23	21	21	22	24	10	10	698
5層6段型	24	11	18	16	8	9	13	10	8	277
6層7段型	2	2	3	4	8	1	5	3	7	47
施設併用型	9	7	7	11	12	11	5	4	6	127
延べ床面積 (単位：千㎡)	989,995	688,743	855,681	853,665	747,718	592,729	788,416	465,629	432,668	37,704,566
1件あたりの延床面積 (㎡)	6,387	5,298	5,942	6,829	6,231	5,488	8,299	5,894	6,556	3,706
収容台数 (単位：台)	47,659	32,609	40,585	39,358	35,269	27,043	36,670	22,631	19,603	2,046,622
1件あたりの収容台数 (台)	307	251	282	315	294	250	386	286	297	201

現在では6層7段型まで国土交通大臣認定品で建築する事が可能となっており、認定自走式駐車場のバリエーションは拡大しました。さらに、下層階(1階又は1～2階部分)に耐火建築物の施設(店舗等)を併設し、その上階部分に認定自走式駐車場を建築する施設併用型認定自走式駐車場では、現在8層9段型自走式立体駐車場まで建築可能となっており、現在までに4件の大臣認定が会員メーカーにより取

得されています。

本年(2025年)7月に集計を行った直近(令和6年(2024年)度)実績では総物件数66件と前年(令和5年(2023年))度比約16%減と物件数の落ち込みが見られるものの、1件当たりの延べ床面積6,556㎡及び収容台数297台は共に前年度実績を上回っており、ここ10年間で見て、その平均値(6,205㎡/293台)を上回る数値(結果)となっています。

大臣認定自走式立体駐車場の普及拡大の取り組み 「道の駅」との連携強化へ

一般社団法人全国道の駅連絡会 賛助会員への加盟を申請



全国道の駅連絡会のWEBサイトより。https://www.michi-no-eki.jp/

当工業会では、認定自走式駐車場の普及拡大に向けさまざまな活動を行っておりますが、現在、本誌P.24でも取り上げているとおり、敷地内駐車場の収容力不足に悩む全国の「道の駅」への認定自走式駐車場の導入の可能性について、調査・研究を進めています。

その一環として、全国の「道の駅」の設置者(市町村



本誌P.24でも取り上げた、場内に自走式立体駐車場を整備している「道の駅 富士川楽座」。同様に、道の駅への自走式立体駐車場の整備拡大に取り組んでいきたい。

等)を正会員とする一般社団法人全国道の駅連絡会に賛助会員として入会申請を行うこととし、現在、手続きを進めています。この全国道の駅連絡会は「全国組織としての機能強化、経営体制の透明化を図るとともに、民間をはじめとする多様な主体との連携や、地域に活性化をもたらす着実な仕組みを創造していくことで、『道の駅』利用者や地域からの更なる期待や信頼に応え(中略)①公益事業、②経営事業、③収益事業を通じて、道の駅全体の活動への支援を強化」していくとして、事業に「防災」を含む方針が示されています。

国土交通省でも「防災道の駅」選定の取り組みが進むなど「防災」とも関係の深い「道の駅」に対し、認定自走式駐車場が、駐車場不足解消と防災のどちらの面でも貢献できるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

日本自走式駐車場工業会 会報誌『ぷれば』

広告募集のご案内

本会報誌『ぷれば』を広告媒体として活用しませんか？

本会報誌『ぷれば』では掲載広告を募集しています

日本自走式駐車場工業会 会報誌『ぷれば』について

発行部数 1,000部～ / 号（年2回発行予定）

仕 様 A4判 中綴じ

頁 数 48 ページ～ オールカラー

内 容 大臣認定自走式駐車場に関わるトピックス・最新情報、
当工業会の取り組みに関する情報、各部会活動報告、調査・統計資料、
総会報告、会員研修会レポート、会員企業紹介 等

配 布 先 当工業会会員（正会員及び賛助会員）、
自走式駐車場議員連盟（衆議院議員及び参議院議員）、内閣府、
国土交通省、総務省、消防庁、国立国会図書館、（一財）日本建築センター、
（公財）都市緑化機構、政令市他主要都市、関係団体 等

広告掲載サイズ・基本料金 （完全データ納品の場合。金額はすべて税別）

A4 カラー 1ページ相当（267×180mm）： 130,000円

A4 カラー 1/2ページ相当（130×180mm）： 70,000円

A4 カラー 1/3ページ相当（85×180mm）： 50,000円

※ サイズは天地×左右。すべて枠付き（1pt、K100%）

※ 広告デザイン制作も承ります（料金別途お見積り）

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人 日本自走式駐車場工業会 事務局 担当：大澤

TEL：03-3456-0781 Mail：info-web@purepa.or.jp

前田道路株式会社

前田道路は100周年を迎えた全国に210拠点を構える舗装会社です。

◆ 企業紹介 ◆

前田道路は2025年3月に創業100周年を迎えることが出来ました。

当社は全国各地に道路工事の拠点となる営業所を約110ヶ所、アスファルト合材の製造・販売をする合材工場を約100ヶ所、合計約210拠点を構えています。

地域道路をはじめとした様々なインフラの新設、

維持管理の分野において、豊かな地域社会の発展に貢献すべく日々、企業活動をしております。

次なる100年も皆さまから愛され信頼される企業であり続ける為に、持続可能な社会の実現に向けた研究開発を進め、社会が抱える課題の解決に挑戦し続けてまいります。

◆ 施工事例・製品紹介など ◆

雨水地下貯留システム (プラスチック製雨水地下貯留浸透施設)

駐車場等の地下に“雨水を一時的に地下に貯留する”工法で、近年の都市型洪水による冠水対策にも有効です。

■地下貯留槽組立て状況



■自走式駐車場地下への貯留槽埋設事例



※ 貯留槽設置状況をCG加工しております。

マイルドパッチ (アスファルト舗装補修材)

水をかけて締め固める袋詰め常温アスファルト混合物で、耐久性を追求した雨天施工可能な補修材です。がっちりマンデーでも紹介された製品です。



マイルドパッチ紹介動画



■マイルドパッチと投入状況



問い合わせ先

前田道路株式会社 東京支店

〒108-8643 東京都港区白金台5-22-12

TEL: 03-3448-2233 FAX: 03-3448-2243

URL: <https://ssl.maedaroad.co.jp>

会員名簿 (五十音順)

正会員 (13社)

社名	代表者名	所在地	電話
IHI運搬機械(株)	赤松 真生	〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー	03-5550-5159
(株)北川鉄工所	北川 祐治	〒726-8610 広島県府中市元町77-1	0847-40-0534
近藤工業(株)	近藤 純子	〒473-0921 愛知県豊田市高丘新町天王11	0565-52-2111
三進金属工業(株)	新井 宏昌	〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2-5-20	072-436-0251
JFEシビル(株)	門田 純	〒111-0051 東京都台東区蔵前2-17-4 JFE蔵前ビル5階	03-3864-3670
セイワパーク(株)	清家 政彦	〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-1-3	092-474-8000
(株)トーカイロード	高島 哲也	〒467-0806 愛知県名古屋市中区瑞穂区瑞穂通5-27-8 TR瑞穂ビル3階	052-858-4300
(株)内藤ハウス	内藤 篤	〒407-8510 山梨県韮崎市円野町上円井3139	0551-27-2131
日成ビルド工業(株)	木村 明文	〒920-0396 石川県金沢市金石北3-16-10	076-268-1113
Parkキング建設(株)	大谷 智徳	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-18-11 南鐵建大阪ビル3階	06-6151-1043
(株)豊国ショウワパーク	岡本 弘司	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-12	06-6399-0700
雄健工業(株)	出井 健太郎	〒869-0111 熊本県玉名郡長洲町大字名石浜35-5	0968-78-6216
綿半ソリューションズ(株)	野原 勇	〒160-0004 東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル2階	03-3341-2766

賛助会員 (19社)

社名	代表者名	所在地	電話
アイロード(株)	岩本 龍明	〒005-0016 北海道札幌市南区真駒内南町7-7-12	011-588-1100
(株)アフロディテ	戸谷 健一	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5 第5古川ビル3階	03-3251-6699
(株)ガルバ興業	菊川 美仁	〒729-0473 広島県三原市沼田西町小原73-46	0848-86-6411

社名	代表者名	所在地	電話
グローエレファ(株)	澤本 恵一	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町7-23-5 KLZビル2階	03-6638-9337
サイカパーキング(株)	森井 清	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 ペンてるビル7階	03-3667-4975
相模石油(株)	小泉 光哉	〒254-0043 神奈川県平塚市紅谷町16-4	0463-22-0264
(有) サン・ネット	山本 稔	〒162-0808 東京都新宿区天神町22-3 ルート神楽坂5F	03-3269-6696
(株) シーディアイ	梯 大将	〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺字丹波12	0586-27-0123
住環境創建(株)	品川 和弘	〒432-8002 静岡県浜松市中央区富塚町534-15	053-412-5513
(一社) 全日本駐車協会	木村 恵司	〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル地下1階	03-3528-8305
(株) D C S	アマン・マルコ	〒335-0012 埼玉県戸田市中町1-2-12	048-430-0187
東部NS工業(株)	野澤 巧	〒321-4508 栃木県真岡市大和田1-23	0285-81-5222
日東亜鉛(株)	本野 晃司	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町4-3	044-266-7881
日本躯体処理(株)	平松 賢士	〒333-0835 埼玉県川口市道合262-1	048-229-7222
日本駐車場救急サービス(株)	森井 清	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-1	03-3663-1755
(株) 姫路商工	福岡 和図	〒671-1107 兵庫県姫路市広畑区西蒲田629	079-236-6368
(株) 富士ダイナミクス	遠藤 直輝	〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9 越藤ビル	03-3793-5411
富士プレハブ工業(株)	石本 賀久	〒550-0006 大阪府大阪市西区江之子島2-1-37-3104	06-6479-1370
前田道路(株)	今泉 保彦	〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3	03-5487-0011

編集後記

あぢい〜！まさにそんな言葉しか思いつかない今年の夏！8月5日には群馬県伊勢崎市で41.8℃を記録し観測史上最高気温を更新、その翌日には静岡県静岡市でも41.6℃を観測するなどまさに「あぢい〜」夏となっている今年の夏、この業界の仕事をしてながら週末には田んぼで米を育てている広報委員Kが7月に上京し2日間都内を歩き回った翌日になんと！「熱中症」でDOWN！この暑さの中、地元で一日中汗だくになりながら農作業をしても熱中症になったことがなかった彼に何が起こったのか？どうやら暑い日中にろくに水分を採らず(夜はそこそこ飲んでいたようだが……)、歩き回った結果、脱水症状を起こしたらしい……。そんな彼が病院のベッドで点滴を打ちながら思ったのは「毎日都内を電車や徒歩で動き回っている人たちってすげーな」だそう(笑) (編集部)

日本自走式駐車場工業会・会員企業（ホームページアドレス）

正会員

IHI運搬機械（株）		https://www.iuk.co.jp
(株)北川鉄工所		https://www.kiw.co.jp
近藤工業（株）		http://www.kogyo.kondo.co.jp
三進金属工業（株）		https://www.sanshinkinzo.co.jp
JFEシビル（株）		https://www.jfe-civil.com
セイワパーク（株）		https://www.seiwapark.co.jp
(株)トーカイロード		https://www.tokairoad.co.jp
(株)内藤ハウス		https://www.naitohouse.co.jp
日成ビルド工業（株）		https://www.nisseibuild.co.jp
Parkキング建設（株）		http://www.park-king.co.jp
(株)豊国ショウワパーク		http://www.showapark.co.jp
雄健工業（株）		https://www.yuukens.co.jp
綿半ソリューションズ（株）		https://stagew.jp/

賛助会員

アイロード（株）		https://www.ai-road.jp
(株)アフロディテ		http://www.aphroditegrp.com
(株)ガルバ興業		http://www.galva.co.jp
グローエレファ（株）		http://www.grow-elfa.com
サイカパーキング（株）		https://www.cyca.co.jp
相模石油（株）		https://www.sagami-oil.co.jp
(有)サン・ネット		http://www.sun-net.cc
(株)シーディアイ		https://www.cdi.jpn.com
住環境創建（株）		https://www.silikali.jp/
(一社)全日本駐車協会		http://www.japan-pa.or.jp
(株)DCS		http://www.dcs-construction.jp
東部NS工業（株）		https://www.tobu-ns-kogyo.co.jp
日東垂鉛（株）		https://www.nitto-aen.co.jp
日本躯体処理（株）		http://www.kutai.co.jp
日本駐車場救急サービス（株）		https://www.jafs99.co.jp
(株)姫路商工		https://www.himejishoukou.co.jp
(株)富士ダイナミクス		https://www.fuji-dynamics.co.jp
富士プレハブ工業（株）		http://www.fujipurehabu.jp
前田道路（株）		https://ssl.maedaroad.co.jp/

日本自走式駐車場工業会会報誌

ぷれば No.83（2025年）

令和7年9月16日発行

編集・発行 一般社団法人 日本自走式駐車場工業会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 5 階

【TEL】 03-3456-0781(代) 【FAX】 03-3456-0788 【HP】 <https://www.purepa.or.jp>

印刷 有限会社サン・ネット